
下関市子ども・子育ての新しい計画づくりのための アンケート調査結果 (見込量算出の関連項目)

平成 26 年 3 月 24 日

第4回 下関市子ども・子育て審議会

目 次

I	調査の概要	2
II	就学前児童調査の結果	3
1	属性	3
2	両親の就労状況	5
(1)	両親の就労状況	5
(2)	両親の就労状況による家庭類型	6
(3)	就労日数・時間	6
(4)	フルタイムへの転換意向	9
(5)	今後の就労意向	10
3	教育・保育事業の利用状況	12
(1)	教育・保育事業の利用状況	12
(2)	利用日数・時間	14
(3)	利用区域	16
(4)	施設へ通う手段	17
(5)	事業の利用理由	17
(6)	事業を利用していない理由	18
4	教育・保育事業の利用希望	19
(1)	教育・保育事業の利用希望	19
(2)	利用を希望する事業の実施区域	21
(3)	事業を選択する際に重視すること	22
(4)	利用を希望する年齢	23
(5)	施設へ通う可能な手段	24
(6)	土曜日、日曜日、祝日の事業の利用希望	25
(7)	長期休暇中の事業の利用希望	26
5	不定期の保育事業の利用希望	27
(1)	子どもが病気の際の保育	27
(2)	不定期の保育サービス	29
(3)	宿泊を伴う保育サービス	30
6	小学校就学後の放課後の希望の過ごし方	32
7	地域の子育て支援サービスの利用状況	33
(1)	地域子育て支援拠点事業の利用状況	33
(2)	地域子育て支援拠点事業の利用意向	34

Ⅲ 放課後児童クラブの利用に関する調査の結果	36
1 属性	36
2 両親の就労状況	38
(1) 両親の就労形態	38
(2) 帰宅時間	38
3 放課後児童クラブの利用状況、利用希望	39
(1) 利用状況	39
(2) 利用時間の現状・希望	40
(3) 利用している理由	41
(4) 放課後クラブの満足度	42
(5) おやつ（捕食）の提供	43
(6) 放課後児童クラブに期待すること	44
(7) 今後の利用希望	45

I 調査の概要

1 調査目的

市内の子育てを行う世帯の現在の幼児教育・保育事業の利用状況や今後の利用希望、子育てについて要望を把握し、幼児教育・保育事業、地域子育て支援事業の「量の見込み」の算出など、計画に反映することを目的とする。

2 調査の方法

(1) 調査地域

下関市全域

(2) 抽出方法

市内に居住する、0歳から5歳までの児童がいる家庭の中から無作為抽出

(3) 調査方法

郵送による配付・回収 督促状1回発送（保護者へ記入を依頼）

(3) 調査対象

5,000 世帯

(4) 回収数

2,631 票 有効回答率 52.6%

(5) 調査時期

平成 25 年 9 月 27 日～平成 25 年 10 月 10 日

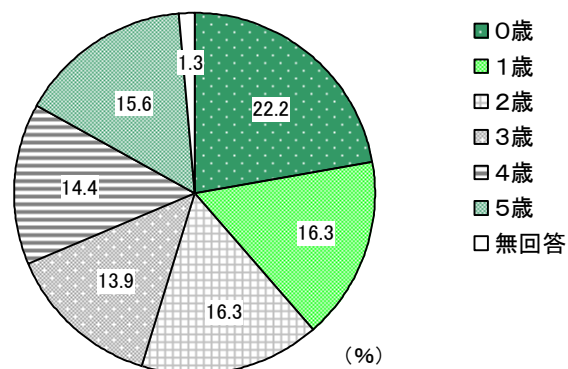
3 報告書の見方

- (1) 本文及び図中に示した調査結果の数値は百分比（%）で示してある。これらの数値は小数点以下第2位を四捨五入しているため、全項目の回答比率の合計が 100.0%とならない場合がある。
- (2) 複数の回答を求めた質問では、回答比率の合計が 100.0%を超えることがある。
- (3) 報告書中の図表では、コンピューター入力の都合上、回答選択肢の表現を短縮している場合がある。
- (4) 母集団比に応じて標本数の配分を行った場合に地域別の回収ベースで分析可能な標本数を確保できない可能性があるため、菊川地域、豊田地域、豊浦地域、豊北地域の抽出率を高く設定し標本配分を行った。そのため、抽出率の差を調整するために、回収数の母集団比率が最も高い地区を基準とした係数を乗じた規正標本数をもって集計を行っている。

Ⅱ 調査の結果

1 属性

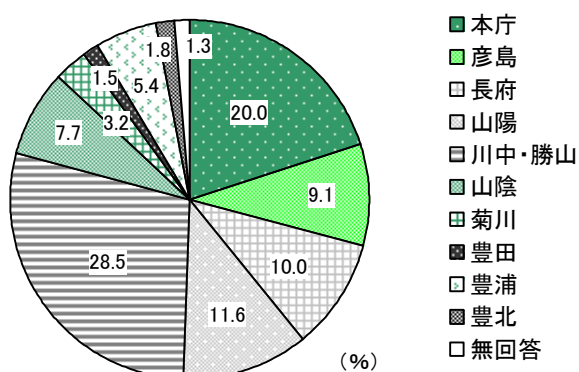
(1) 子どもの年齢



	回答者数	規正標本数	割合
0歳	577	1,059	22.2%
1歳	427	776	16.3%
2歳	428	774	16.3%
3歳	361	662	13.9%
4歳	380	686	14.4%
5歳	405	742	15.6%
無回答	53	61	1.3%
合計	2,631	4,760	100.0%

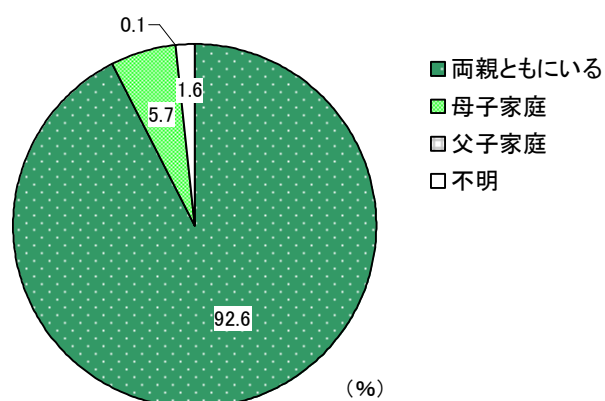
※年齢は平成25年4月1日現在の年齢（平成25年4月2日以降に生まれた方は0歳に含んでいます）

(2) 居住地



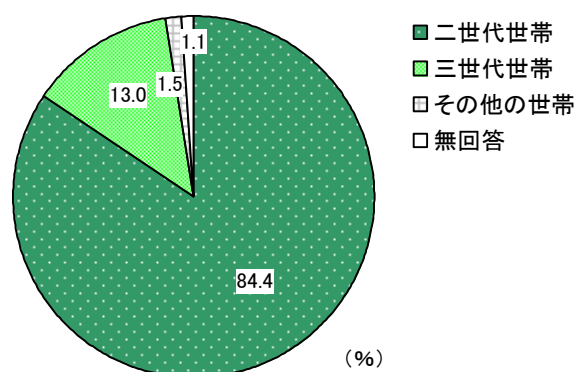
	回答者数	規正標本数	割合
本庁地域	475	950	20.0%
彦島地域	216	434	9.1%
長府地域	265	477	10.0%
山陽地域	307	553	11.6%
川中・勝山地域	691	1,354	28.5%
山陰地域	186	365	7.7%
菊川地域	111	153	3.2%
豊田地域	61	70	1.5%
豊浦地域	169	255	5.4%
豊北地域	86	86	1.8%
無回答	64	64	1.3%
合計	2,631	4,761	100.1%

(3) 両親の状況



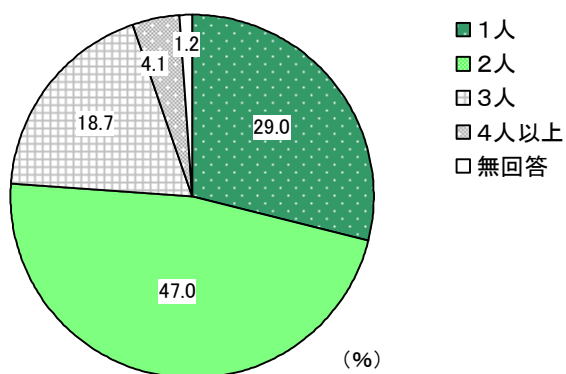
	回答者数	規正標本数	割合
両親ともにいる	2,424	4,410	92.6%
母子家庭	147	269	5.7%
父子家庭	4	7	0.1%
不明	56	74	1.6%
合計	2,631	4,760	100.0%

(4) 家族構成



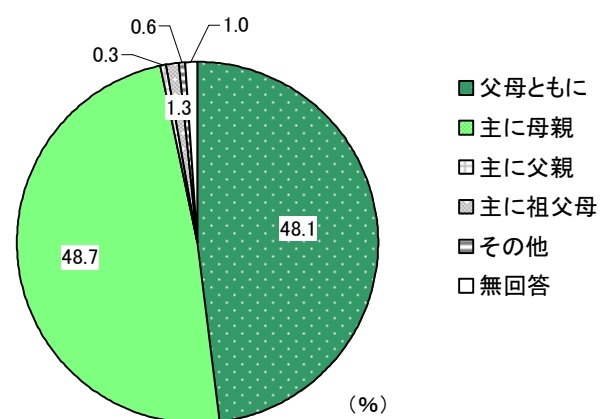
	回答者数	規正標本数	割合
二世代世帯	2,180	4,014	84.4%
三世代世帯	358	619	13.0%
その他の世帯	47	74	1.5%
無回答	46	53	1.1%
合計	2,631	4,760	100.0%

(5) 子どもの人数



	回答者数	規正標本数	割合
1人	757	1,381	29.0%
2人	1,221	2,240	47.0%
3人	497	888	18.7%
4人以上	109	195	4.1%
無回答	47	56	1.2%
合計	2,631	4,760	100.0%

(6) 子育てを主に行う者



	回答者数	規正標本数	割合
父母ともに	1,260	2,291	48.1%
主に母親	1,270	2,317	48.7%
主に父親	7	12	0.3%
主に祖父母	35	63	1.3%
その他	16	28	0.6%
無回答	43	49	1.0%
合計	2,631	4,760	100.0%

2 両親の就労状況

(1) 両親の就労状況

問 13 お母さんの就労状況を回答してください。

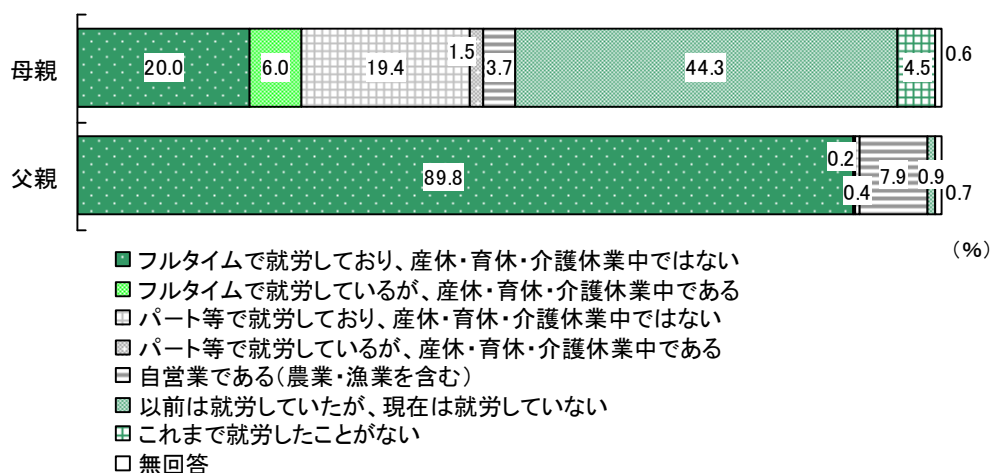
問 14 お父さんの就労状況を回答してください。

母親の就労状況は、「フルタイム」が 26.0%、「パート・アルバイト」が 20.9%、「自営業」が 3.7%であり、就労している割合は 50.6%である。

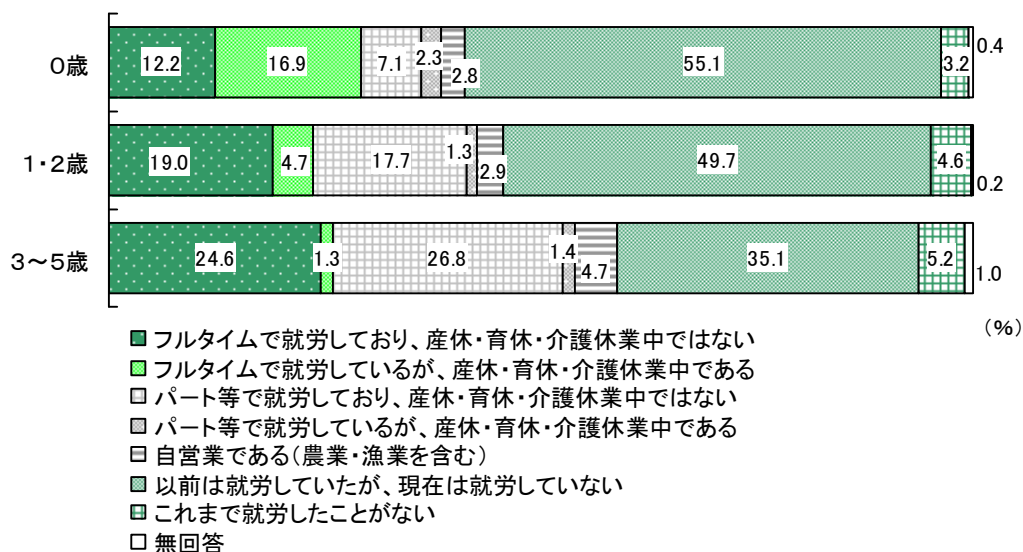
母親の就労状況を年齢区分別にみると、子どもの年齢が上がるほど、就労している割合が高くなっており、3～5歳では 58.8%となっている。

父親の就労状況は、「フルタイム」が 90.0%、「パート・アルバイト」が 0.4%、「自営業」が 7.9%であり、就労している割合は 98.3%である。

〔図 両親の就労状況〕



〔図 母親の就労状況/年齢区分別〕

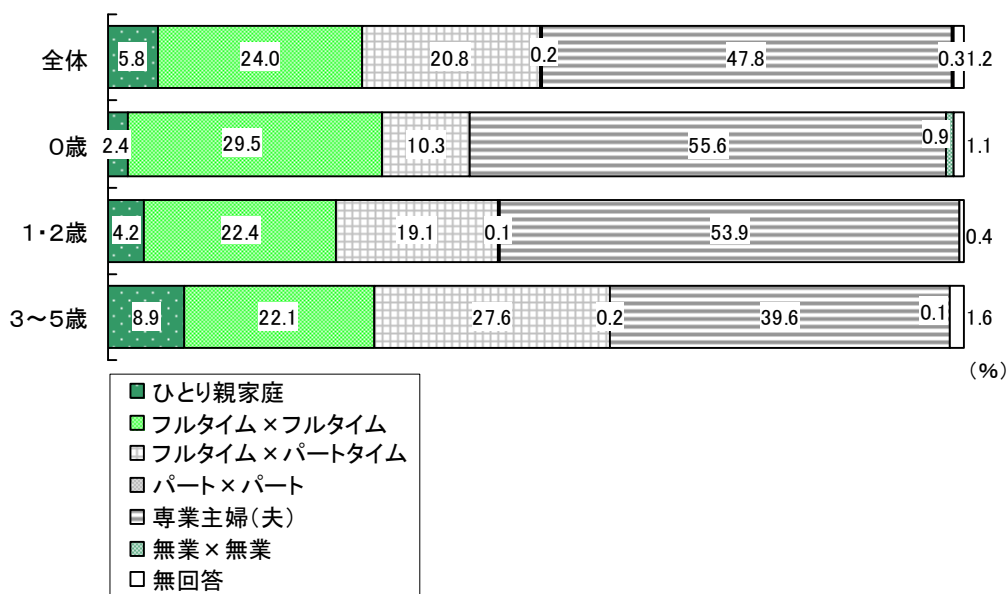


(2) 両親の就労状況による家庭類型

家庭形態と両親の就労状況により、保育の必要性にかかわる家庭類型を区分すると、全体では、ひとり親家庭が5.8%、両親ともにフルタイムで就労している家庭が24.0%、両親がそれぞれフルタイムとパートタイムで就労している家庭が20.8%、両親ともにパートタイムで就労している家庭が0.2%であり、保育が必要な家庭は50.8%となっている。

また、年齢区分別にみると、保育が必要な家庭は年齢が上がるほど高くなっている。

〔図 両親の就労状況による家庭類型/年齢区分別〕



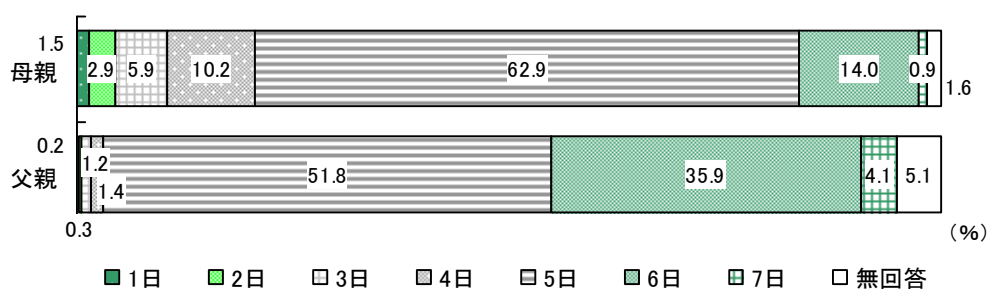
(3) 就労日数・時間

問 13-1 お母さんの1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」、土曜日・日曜日の勤務状況を記入してください。

問 14-1 お父さんの1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」、土曜日・日曜日の勤務状況を記入してください。

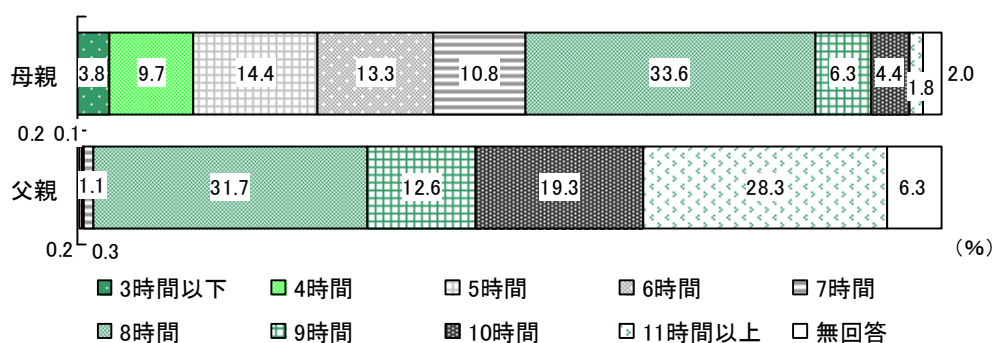
1週当たりの就労日数は、母親は「5日」が62.9%で最も高く、次いで「6日」が14.0%、父親は「5日」が51.8%で最も高く、次いで「6日」が35.9%となっている。

〔図 1週当たりの就労日数〕



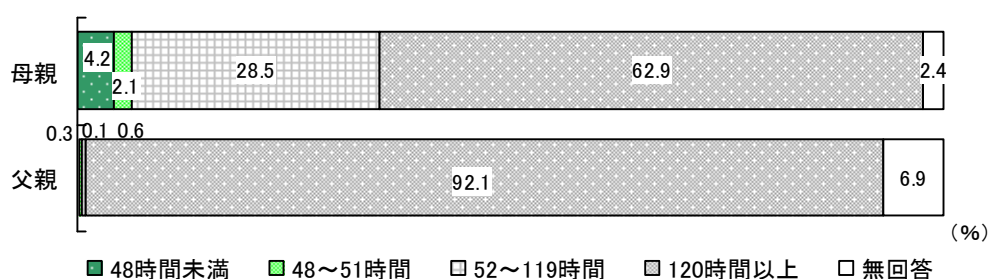
1日当たりの就労時間は、母親は「8時間」が33.6%で最も高く、次いで「5時間」が14.4%、父親は「8時間」が31.7%で最も高くなっているが、「11時間以上」も28.3%となっている。

〔図 1日当たりの就労時間〕



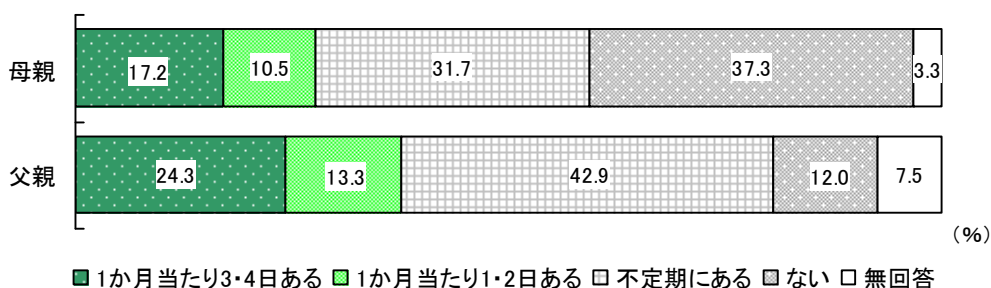
1か月当たりの就労時間は、母親は「120時間以上」が62.9%、「52～119時間」が28.5%、父親は「120時間以上」が9割を超えている。

〔図 母親の1か月当たりの就労時間〕

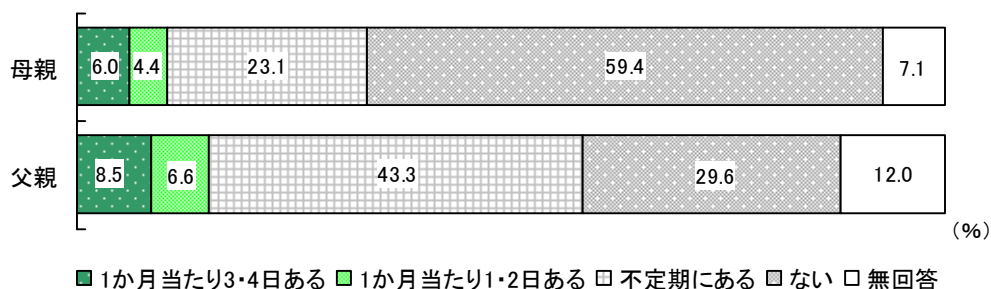


土曜日の就労が「1か月当たり3・4日ある」割合は、母親が17.2%、父親が24.3%、日曜日の就労が「1か月当たり3・4日ある」割合は、母親が6.0%、父親が8.5%となっている。

〔図 土曜日の就労状況〕



〔図 日・祝日の就労状況〕



問 13-2 お母さんが家を出る時間と帰宅時間を記入してください。

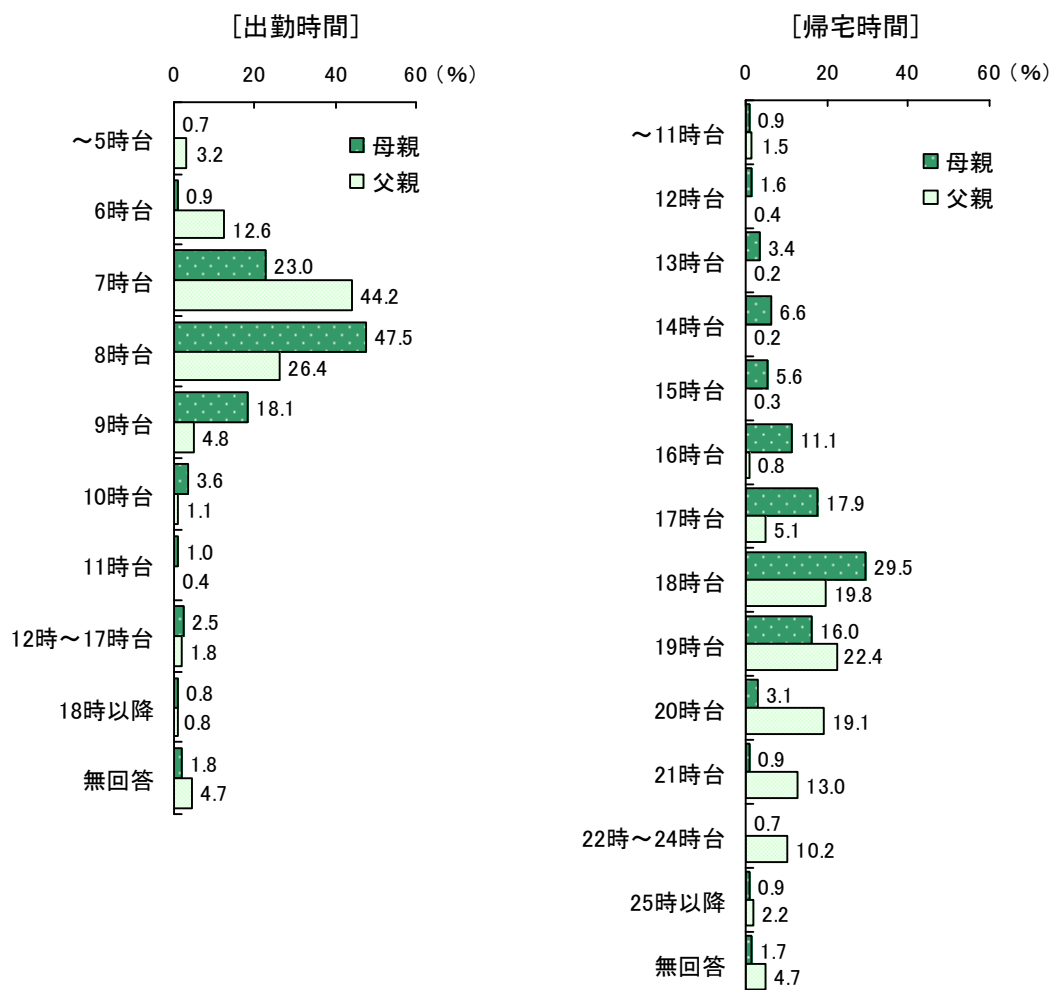
問 14-2 お父さんが家を出る時間と帰宅時間を記入してください。

出勤時間は、母親は「8時台」が 47.5%で最も高く、父親は「7時台」が 44.2%で最も高くなっている。

帰宅時間は、母親は「18時台」が 29.5%で最も高く、父親は「19時台」が 22.4%で最も高くなっている。

また、父親の帰宅時間は、22時以降の割合が1割を超えている。

〔図 出勤時間・帰宅時間〕



(4) フルタイムへの転換意向

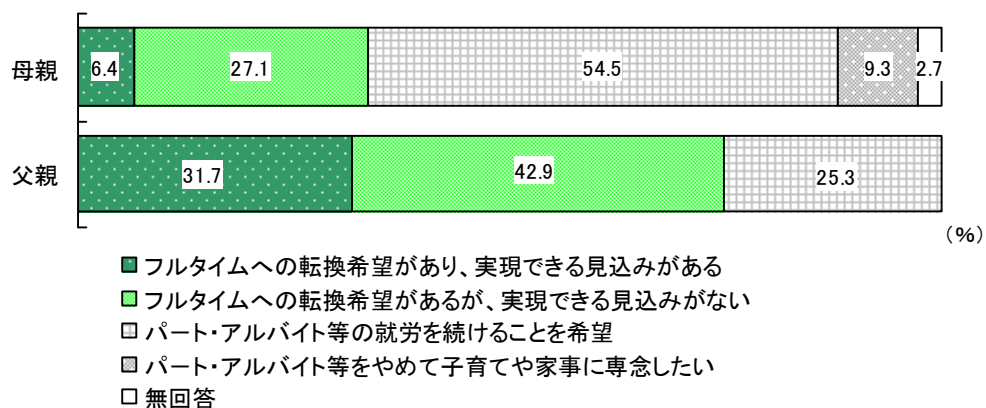
問 13-3 お母さんはフルタイムへの転換希望はありますか。

問 14-3 お父さんはフルタイムへの転換希望はありますか。

パート・アルバイトのうち、フルタイムへの転換意向がある割合は、母親で 33.5%であり、6.4%が実現できる見込みがあると回答している。

父親では、転換意向がある割合は 74.6%であり、31.7%が実現できる見込みがあると回答している。

〔図 フルタイムへの転換意向〕
(パート等で就労している保護者)



(5) 今後の就労意向

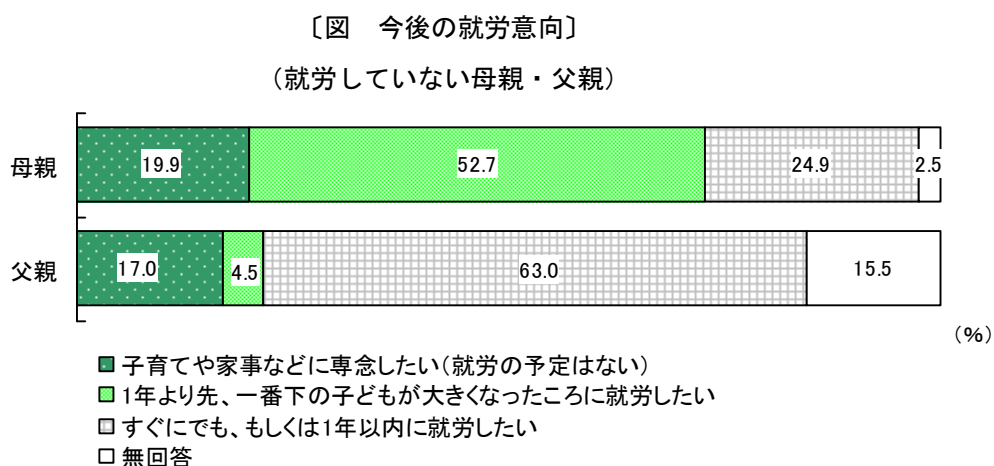
問 13-4 お母さんは就労したいという希望はありますか。

問 14-4 お父さんは就労したいという希望はありますか。

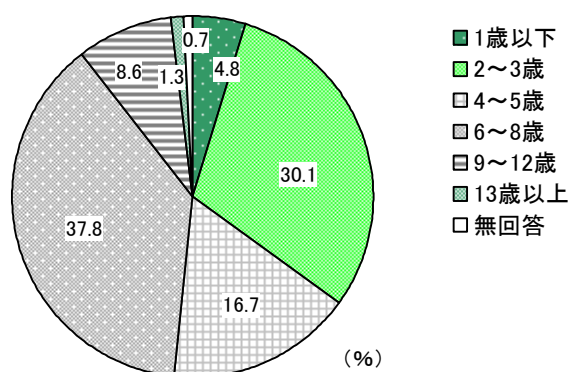
就労していない親の就労意向について、母親は「1年より先、一番下の子どもが大きくなったところに就労したい」と回答した割合が 52.7%で最も高く、その際の子どもの年齢としては、6歳以上が 47.7%となっている。

また、就労していない母親のうち、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した割合は 24.9%であり、希望する就労形態は「パート・アルバイト等」が 79.0%となっている。

就労していない父親のうち、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した割合が 63.0%であり、そのすべてがフルタイムでの形態を希望している。

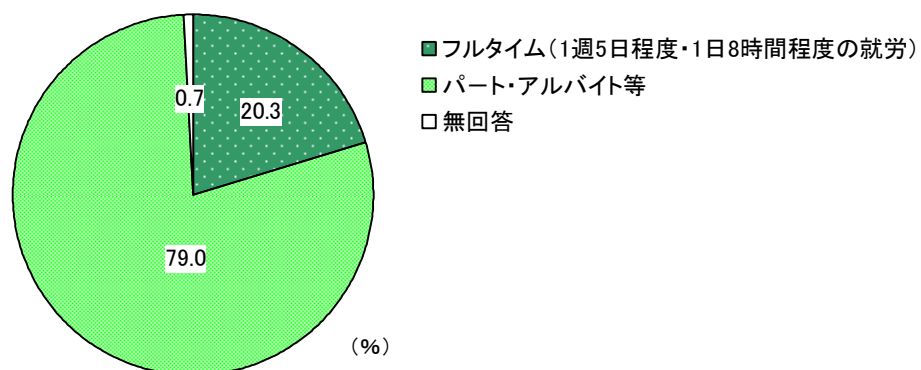


〔図 母親が就労を希望する際の子どもの年齢〕
(子どもが大きくなったところに就労を希望する母親)



〔図 母親の希望する就労形態〕

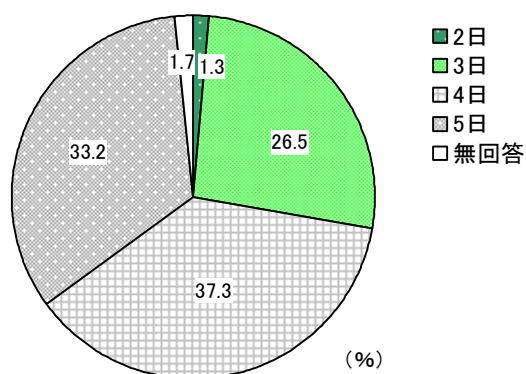
(すぐにでも、もしくは1年以内に就労を希望する母親)



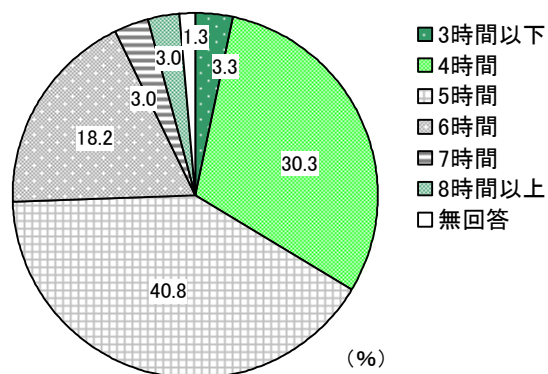
〔図 母親の希望する就労日数・時間〕

(パート等を希望する母親)

[1週当たりの就労日数]



[1日当たりの就労時間]



3 教育・保育事業の利用状況

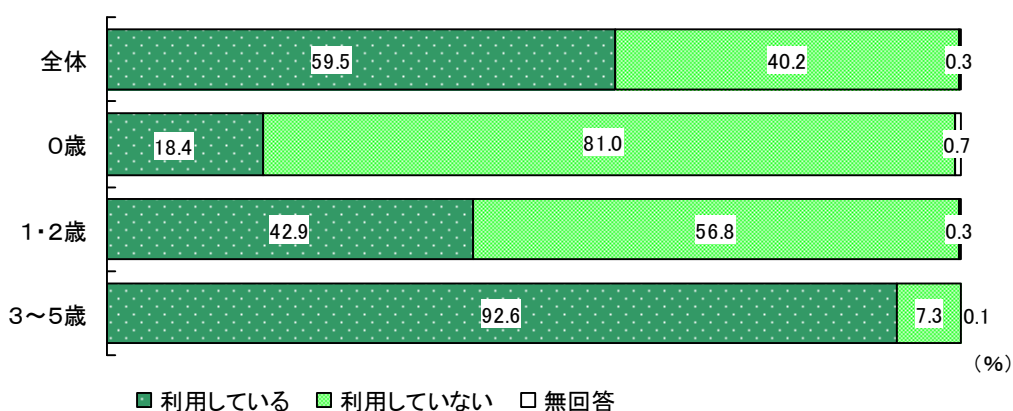
(1) 教育・保育事業の利用状況

問 15 あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育園などを利用していますか。

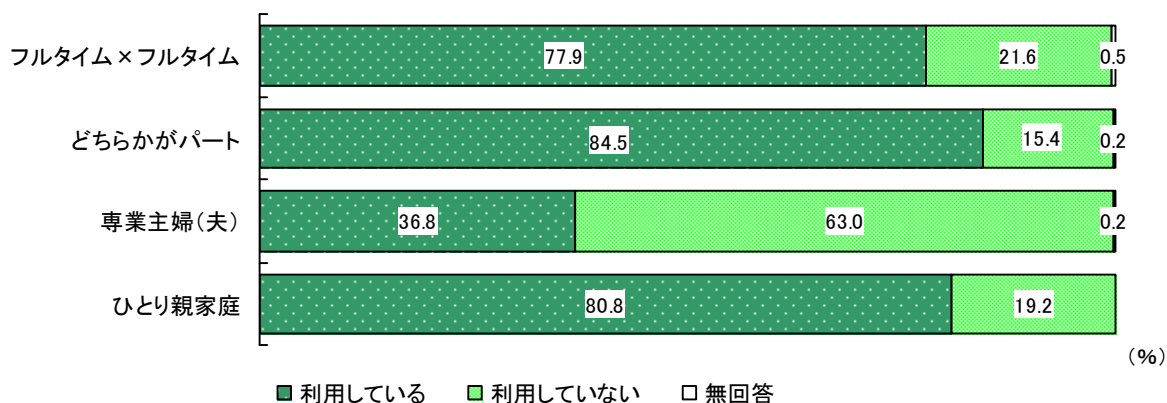
現在、子どもが教育・保育事業を「利用している」割合は、59.5%であり、年齢区分別にみると、0歳で18.4%、1・2歳で42.9%、3～5歳で92.6%であり、年齢が上がるほど高くなっている。

両親の就労状況別にみると、事業を「利用している」割合は、両親が就労している世帯では8割前後、就労していない世帯では36.8%となっている。

〔図 教育・保育事業の利用状況/年齢区分別〕



〔図 教育・保育事業の利用状況/両親の就労状況別〕

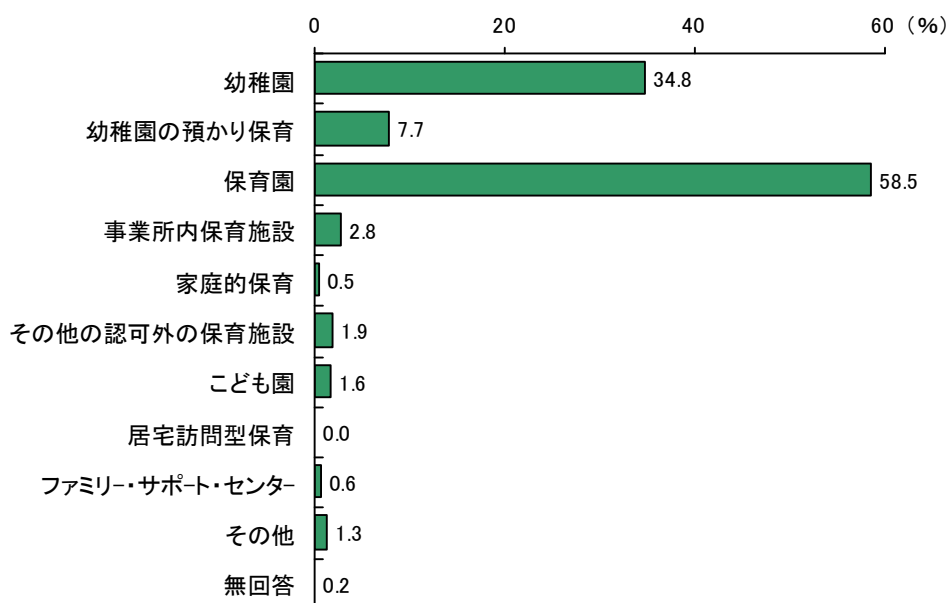


問 15ー1 あて名のお子さんは、平日どのような事業を利用していますか。年間を通じて定期的に利用している事業を回答してください。

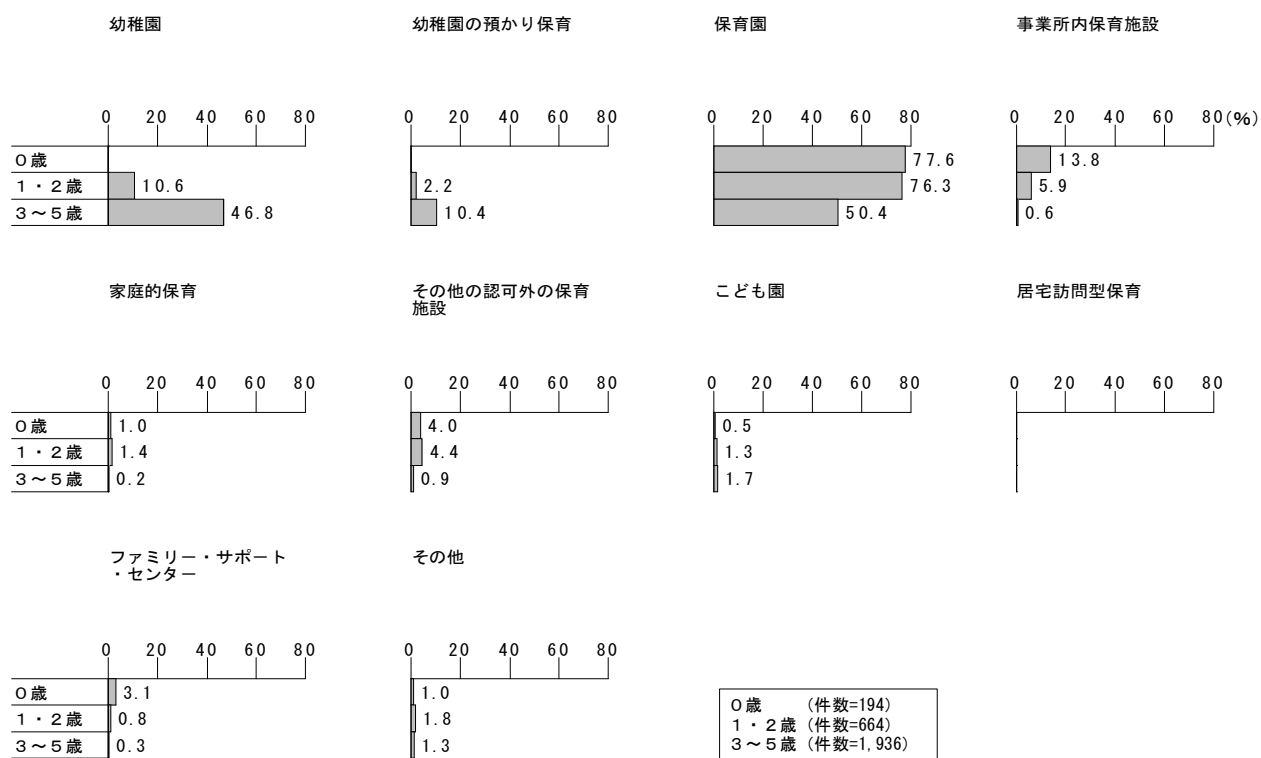
利用している事業は、「保育園」が 58.5%で最も高く、次いで「幼稚園」が 34.8%、「幼稚園の預かり保育」が 7.7%となっている。

年齢区分別にみると、0歳、1・2歳では「保育園」が7割を超え高く、3～5歳では「保育園」と「幼稚園」が5割前後となっている。

〔図 利用している教育・保育事業〕



〔図 利用している教育・保育事業/年齢区分別〕

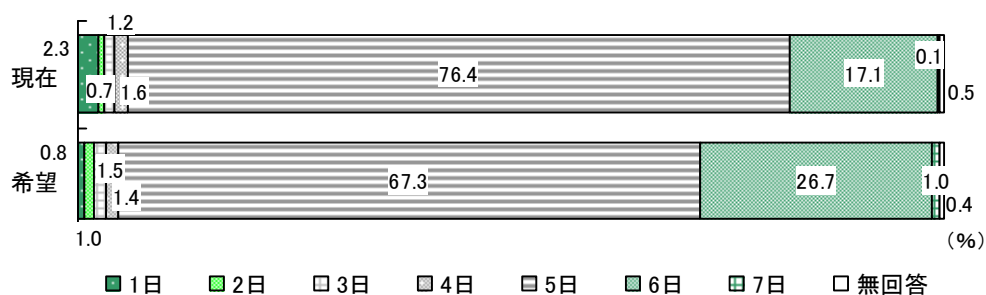


(2) 利用日数・時間

問 15-2 平日、定期的に幼稚園や保育園などをどのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。

事業の1週当たりの現在の利用日数は「5日」が76.4%で最も高く、次いで「6日」が17.1%であり、希望の利用日数は、現在と比べて「6日」の割合が26.7%と高くなっている。

〔図 1 週当たりの利用日数〕



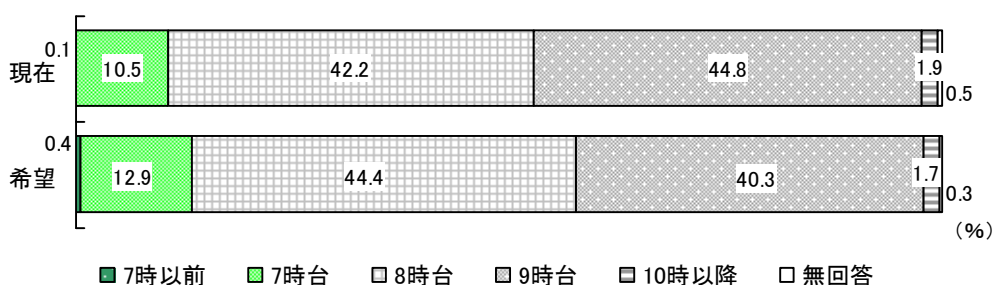
事業の現在の利用開始時間は、「9時台」が44.8%で最も高く、次いで「8時台」が42.2%であり、希望開始時間は、現在と比べて「8時台」がやや高くなっている。

事業の現在の利用終了時間は、「14時台」が25.3%で最も高く、次いで「17時台」が21.4%であり、希望終了時間は、現在と比べて「14時台」が低くなり、「16時台」、「19時台」が高くなっている。

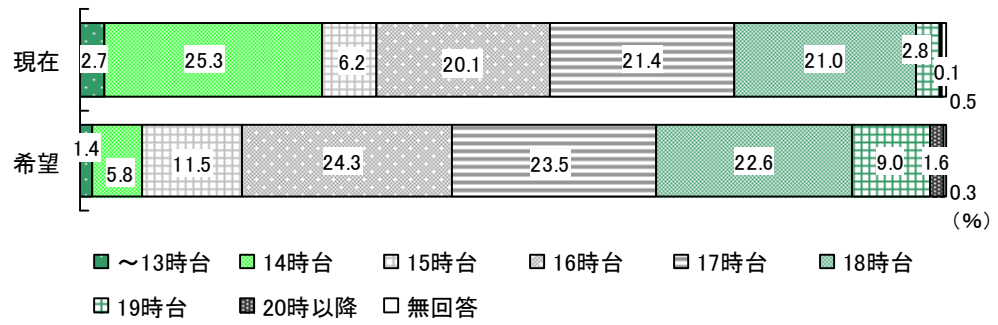
幼稚園、保育園別に利用終了時間をみると、幼稚園では、現在の利用終了時間は、「14時台」が69.9%で最も高くなっているが、希望終了時間は、「14時台」が15.4%と現在よりも低くなり、「16時台」が30.7%、「15時台」が26.1%など、15時以降の割合が高くなっている。

保育園では、現在の利用終了時間は、「18時台」が32.3%で最も高くなっているが、希望終了時間は、「16時台」が現在よりも低くなり、「19時台」が12.8%と高くなっている。

〔図 利用開始時間〕

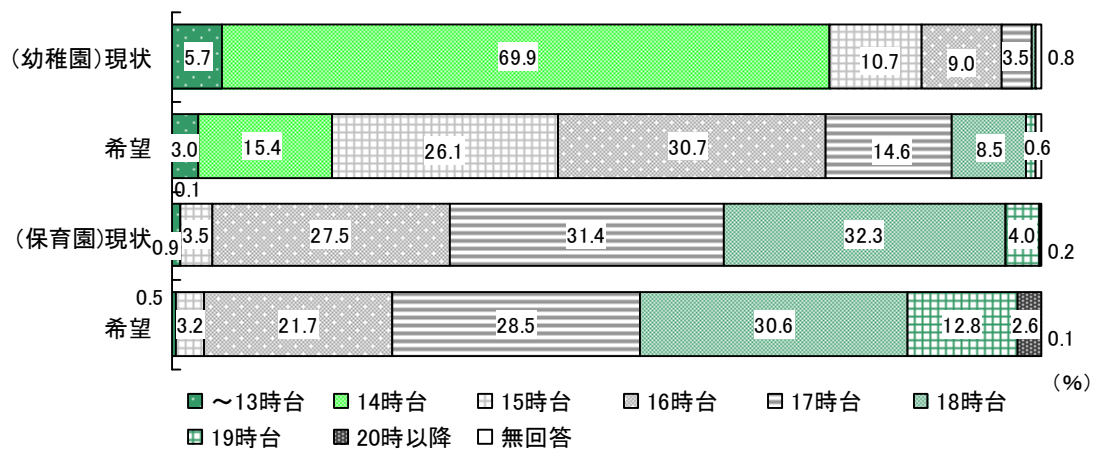


〔図 利用終了時間〕



〔図 利用終了時間〕

(幼稚園・保育園)

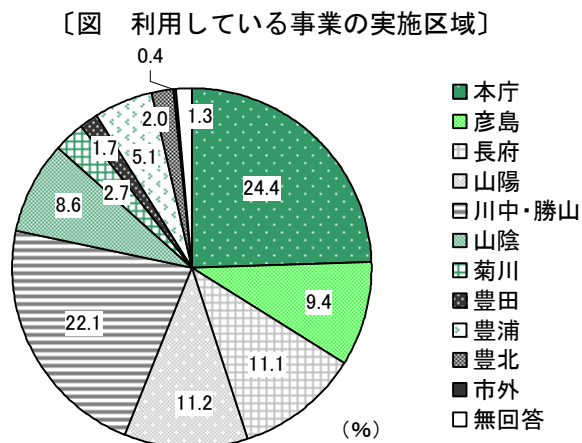


(3) 利用区域

問 15-3 現在、利用している幼稚園や保育園などはどの小学校区にありますか。

利用区域は、「本庁」、「川中・勝山」が高くなっている。

居住している提供区域別にみると、「川中・勝山」、「山陰」、「菊川」は他の区域を利用している割合が高くなっている。



〔図 利用している事業の実施区域/居住している提供区域別〕

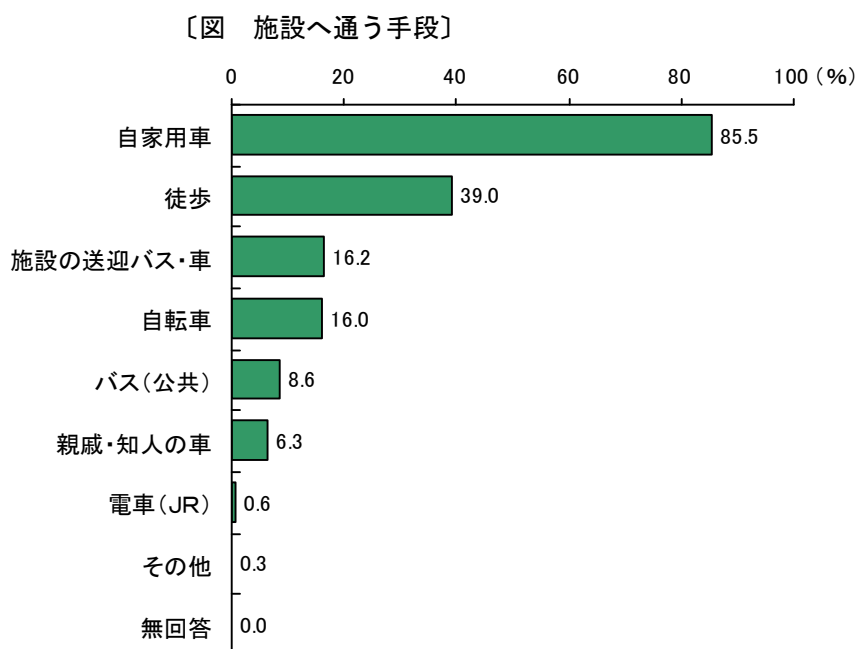
(%)

		回答数	利用事業の実施区域											
居住区域			本庁	彦島	長府	山陽	川中・勝山	山陰	菊川	豊田	豊浦	豊北	市外	無回答
	本庁	554	83.8	2.5	0.4	1.1	9.7	1.1	-	-	-	-	0.7	0.7
	彦島	275	9.5	87.6	-	-	1.5	0.7	-	-	-	-	-	0.7
	長府	302	6.5	-	86.3	2.4	3.0	0.6	-	-	-	-	-	1.2
	山陽	329	1.6	-	6.6	86.9	0.5	0.5	0.5	-	-	-	1.6	1.6
	川中・勝山	747	19.9	0.8	2.9	0.5	68.0	6.3	-	-	0.3	-	-	1.3
	山陰	239	6.6	1.6	0.8	-	12.3	75.4	-	-	2.5	-	-	0.8
	菊川	95	2.8	-	3.4	9.7	5.5	-	75.2	2.1	-	-	-	1.4
	豊田	48	-	-	-	2.4	-	-	-	92.9	-	-	2.4	2.4
	豊浦	149	4.0	-	-	-	2.0	2.0	1.0	-	89.9	-	-	1.0
	豊北	59	-	-	-	-	-	1.7	-	-	1.7	91.5	-	5.1
	無回答	33	9.1	3.0	9.1	9.1	33.3	3.0	9.1	3.0	3.0	9.1	-	9.1

(4) 施設へ通う手段

問 15-4 現在、利用している幼稚園や保育園などには、どのような手段で通うことが可能ですか。
(緊急時は含みません)

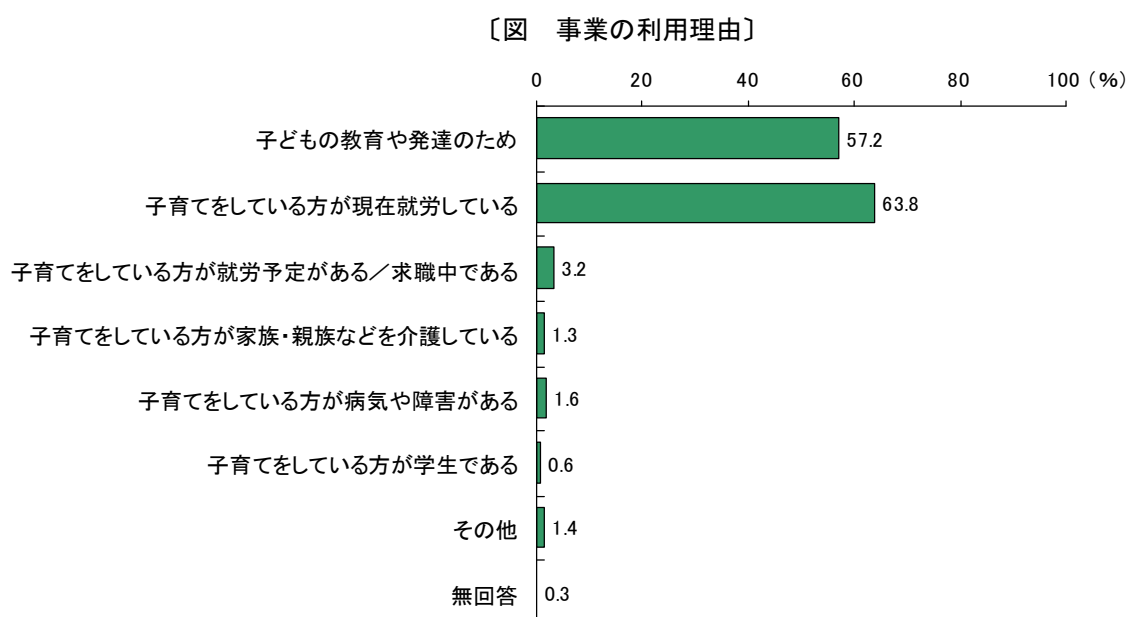
現在の施設へ通う手段は、「自家用車」が 85.5%で最も高く、次いで「徒歩」が 39.0%、「施設の送迎バス・車」が 16.2%となっている。



(5) 事業の利用理由

問 15-5 平日、定期的に幼稚園や保育園などを利用している主な理由を回答してください。

教育・保育事業の利用理由は、「子育てをしている方が現在就労している」が 63.8%で最も高く、次いで「子どもの教育や発達のため」が 57.2%となっている。



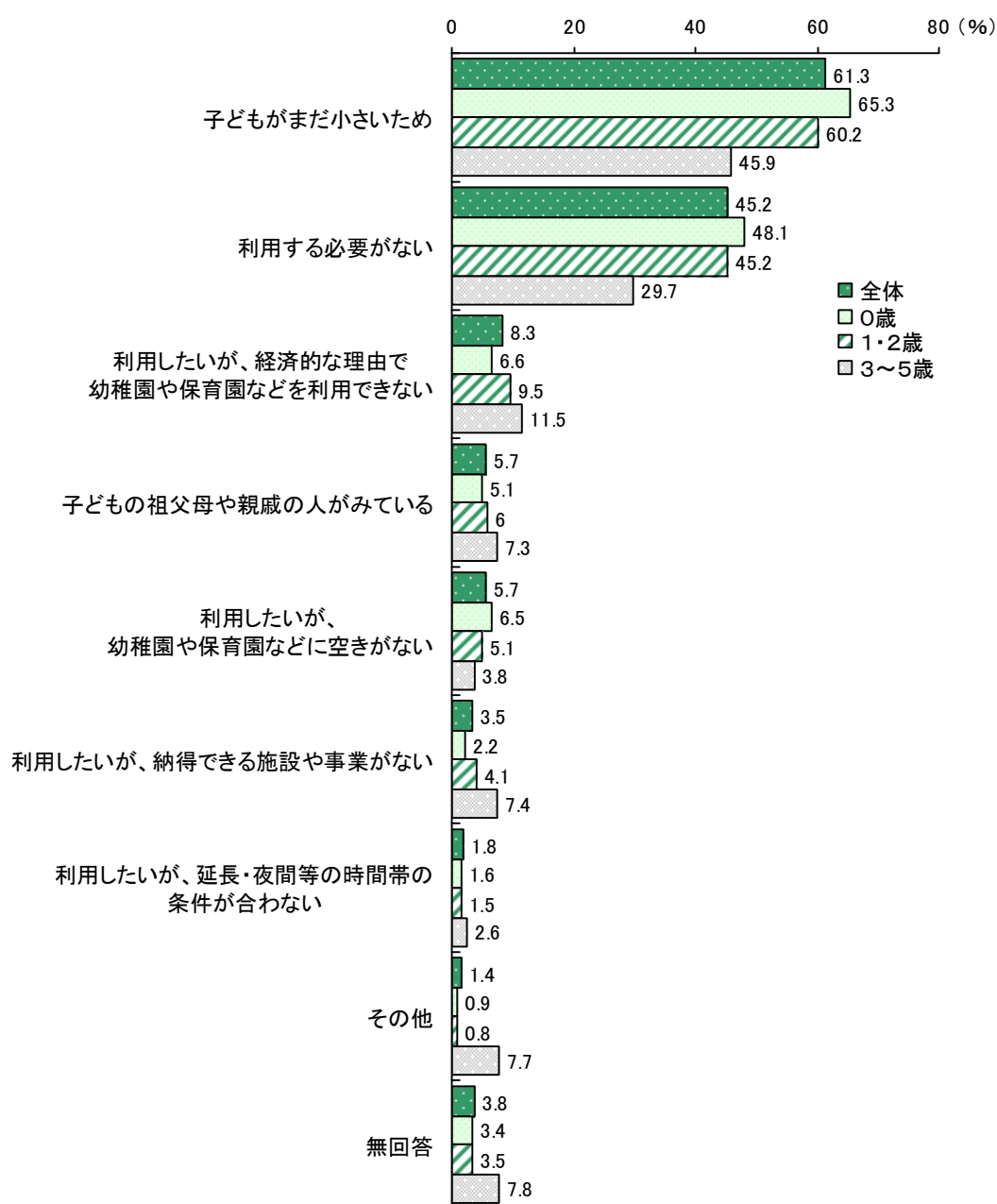
(6) 事業を利用していない理由

問 15-6 現在、幼稚園や保育園などを利用していない主な理由を回答してください。

現在、教育・保育事業を利用していない理由は、「子どもがまだ小さいため」が 61.3%で最も高く、次いで「利用する必要がない」が 45.2%となっている。

また、「利用したいが、経済的な理由で幼稚園や保育園などを利用できない」、「利用したいが、幼稚園や保育園などに空きがない」との、利用したい意向があるが利用できていない回答もあがっている。

〔図 事業を利用していない理由〕

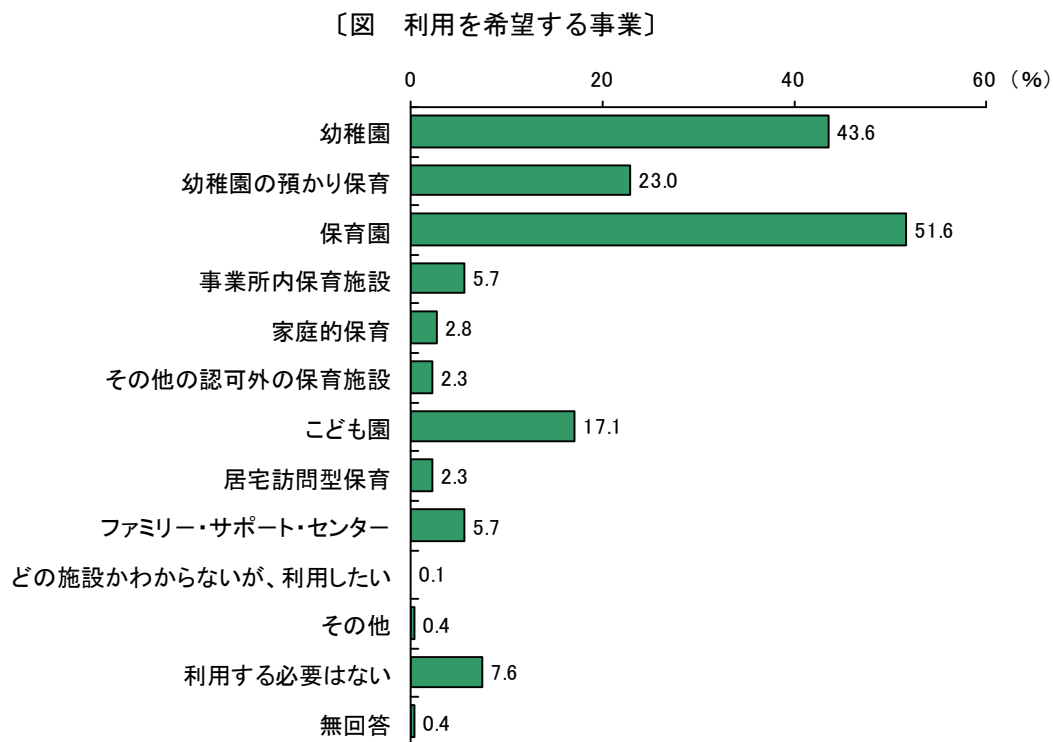


4 教育・保育事業の利用希望

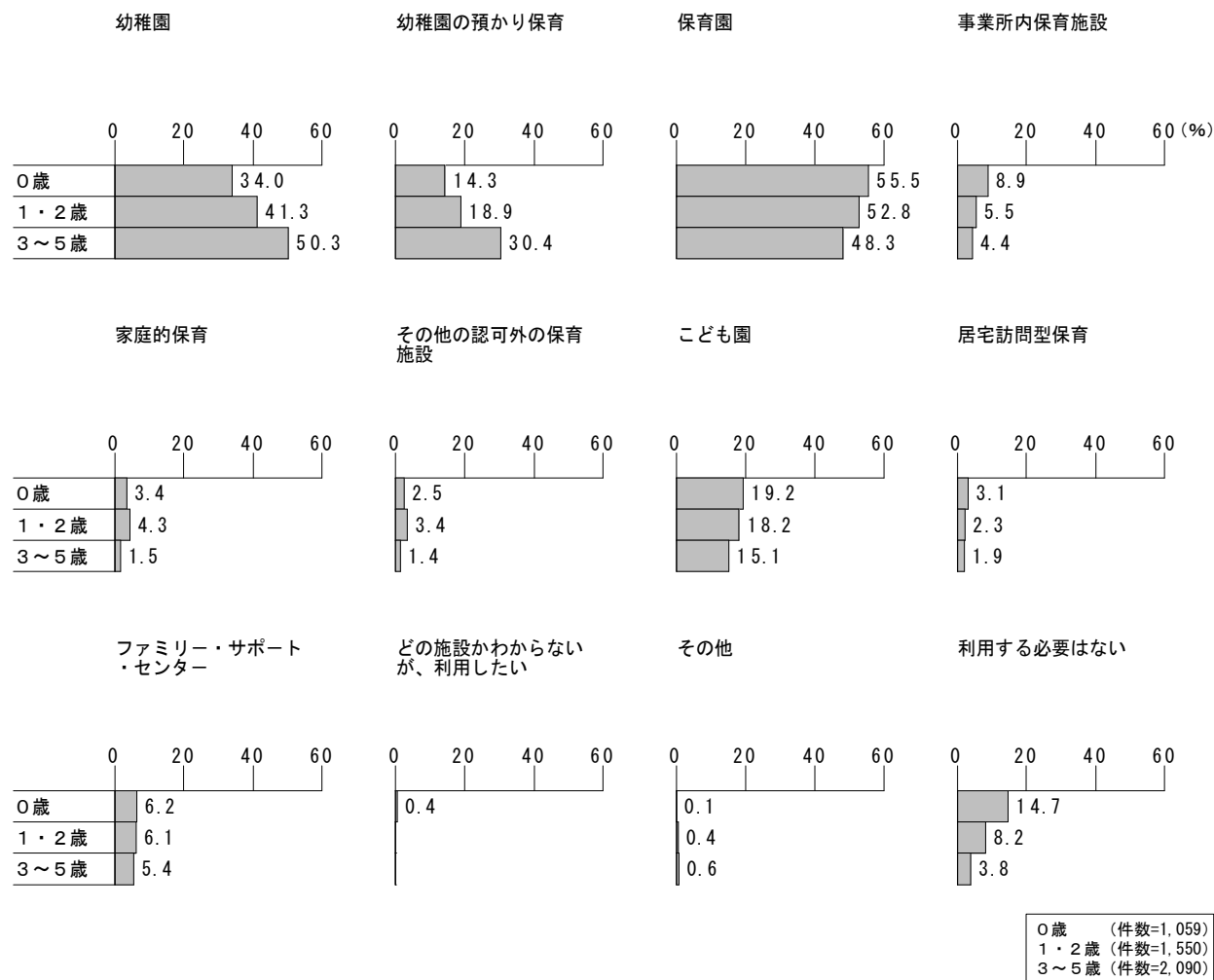
(1) 教育・保育事業の利用希望

問 16 あて名のお子さんについて、平日、定期的にどのような施設や事業を利用したいと思いますか。現在、利用している、利用していないにかかわらず回答してください。

平日、定期的に利用したい施設や事業は、「保育園」(51.6%)、「幼稚園」(43.6%)、「幼稚園の預かり保育」(23.0%)、「こども園」(17.1%)の順で高くなっている。



〔図 利用を希望する事業/年齢区分別〕



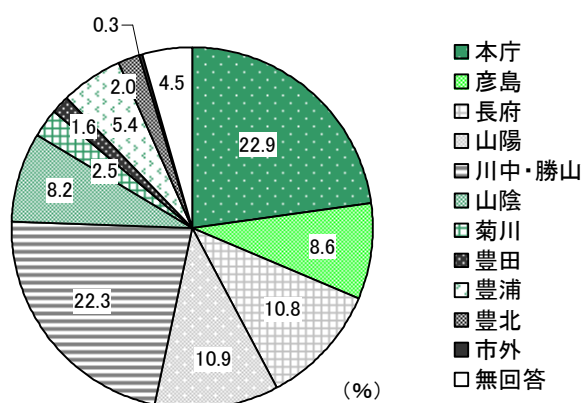
(2) 利用を希望する事業の実施地域

問 16-1 利用したいと思う幼稚園や保育園などはどの小学校区にありますか。(同封した資料「【参考】学校区と就学前施設」を参考にしてください。)

利用希望地域は、「本庁」、「川中・勝山」、「山陽」の順に高くなっている。

居住している提供区域別にみると、「川中・勝山」、「山陰」、「菊川」は他の区域を希望している割合が高くなっている。

〔図 利用を希望する事業の実施地域〕



〔図 利用を希望する事業の実施区域/居住している提供区域別〕

(%)

		回答数	利用希望事業の実施区域											
			本庁	彦島	長府	山陽	川中・勝山	山陰	菊川	豊田	豊浦	豊北	市外	無回答
居住区域	本庁	882	81.9	2.3	1.1	0.2	6.3	1.6	—	0.2	0.5	—	0.2	5.7
	彦島	394	8.7	87.2	—	—	1.0	—	—	—	—	0.5	1.0	1.5
	長府	434	4.6	—	85.1	2.1	2.9	—	0.4	—	—	—	—	5.0
	山陽	517	0.7	—	7.3	86.4	0.7	0.7	—	—	—	0.3	0.3	3.5
	川中・勝山	1,237	15.2	0.8	3.6	0.5	67.5	5.9	—	0.2	0.3	0.3	0.5	5.2
	山陰	335	6.4	0.6	0.6	—	11.1	78.4	—	—	0.6	—	—	2.3
	菊川	139	0.9	—	3.3	8.0	5.6	0.9	75.1	2.3	—	—	—	3.8
	豊田	63	—	—	—	—	—	—	—	98.2	—	1.8	—	—
	豊浦	237	1.3	—	0.6	—	0.6	0.6	0.6	—	93.0	—	—	3.2
	豊北	80	—	—	—	—	—	1.3	—	—	1.3	92.5	1.3	3.8
	無回答	61	14.8	1.6	6.6	4.9	31.1	3.3	4.9	1.6	4.9	6.6	—	19.7

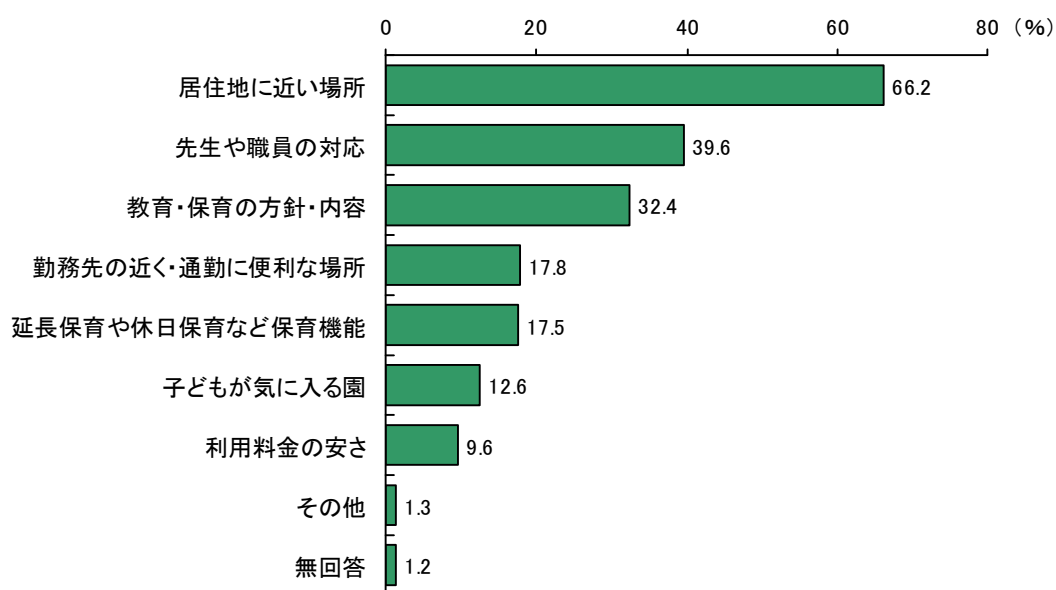
(3) 事業を選択する際に重視すること

問 16-2 幼稚園や保育園などを選ぶときに特に重視することは何ですか。

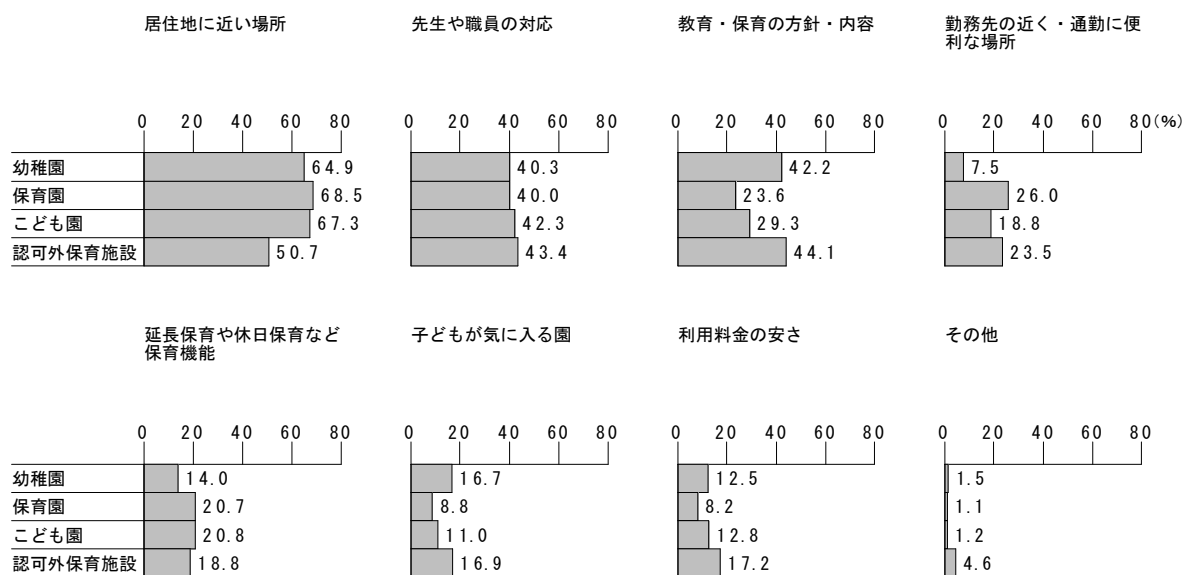
事業を選択する際に重視する点について、「居住地に近い場所」が 66.2%で最も高く、次いで「先生や職員の対応」(39.6%)、「教育・保育の方針・内容」(32.4%) となっている。

事業別にみると、「教育・保育の方針・内容」は幼稚園、認可外保育施設で、「勤務先の近く・通勤に便利な場所」は保育園、認可外保育施設で他の事業よりも高くなっている。

〔図 事業を選択する際に重視すること〕



〔図 事業を選択する際に重視すること/事業別〕



幼稚園 (件数=2,076)
 保育園 (件数=2,455)
 こども園 (件数=814)
 認可外保育施設 (件数=109)

(4) 利用を希望する年齢

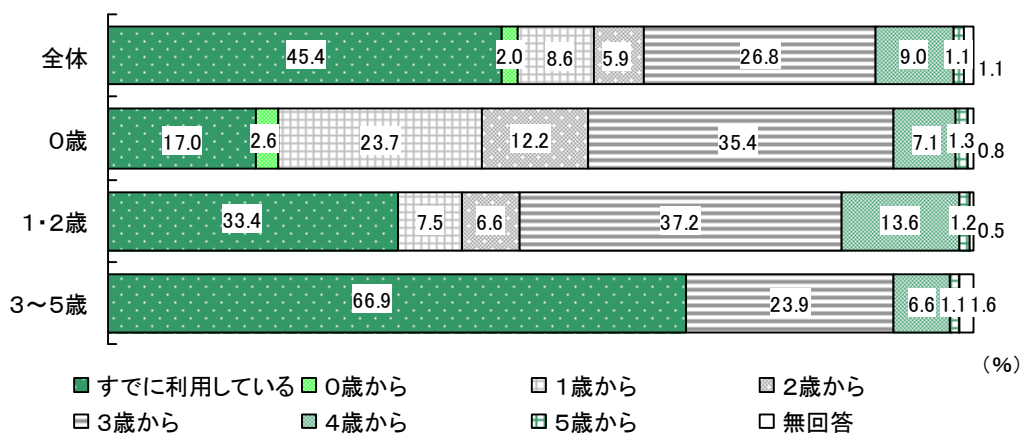
問 16-3 幼稚園や保育園などを何歳から利用したいですか。

利用を希望する子どもの年齢について、「すでに利用している」を除くと、「3歳から」が26.8%で最も高く、次いで「1歳から」が8.6%、「4歳から」が9.0%となっている。

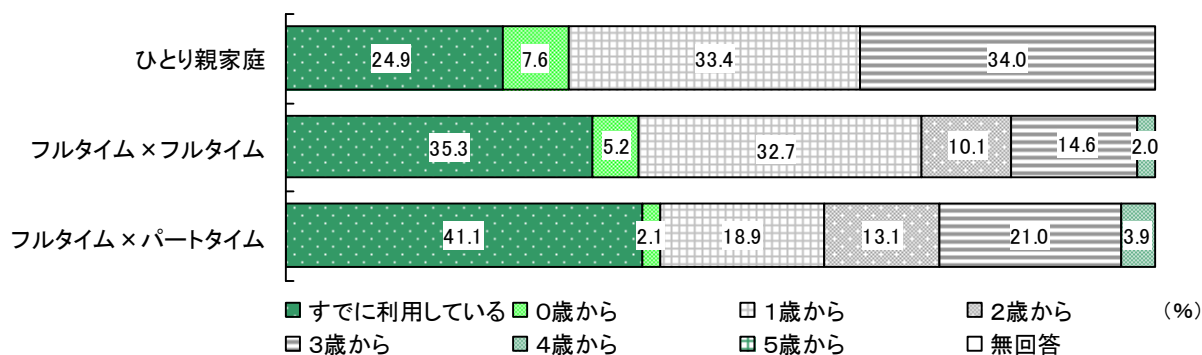
年齢区分別にみると、0歳では、「0歳から」が2.6%、「1歳から」が23.7%、「2歳から」が12.2%となっている。

0歳、1・2歳について家庭類型別にみると、ひとり親家庭、両親ともに働いている家庭であっても、「2歳から」、「3歳から」という、年齢が上がってからの利用希望がある。

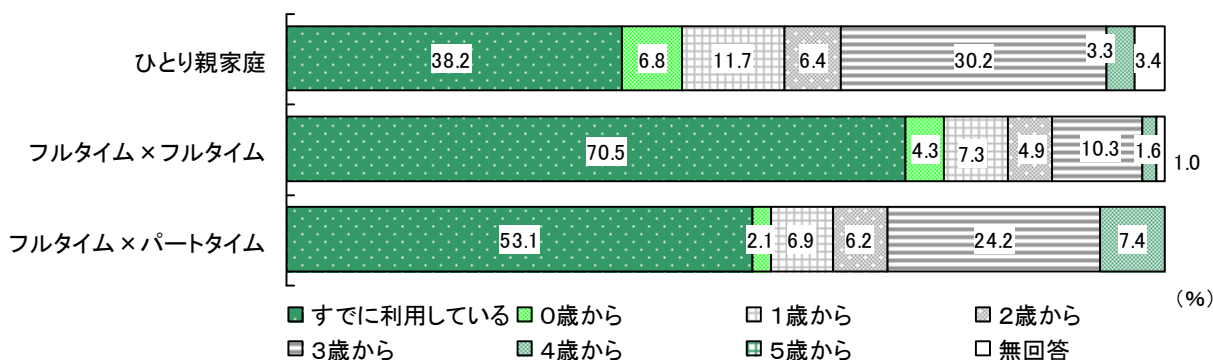
〔図 利用を希望する子どもの年齢/年齢区分別〕



〔図 利用を希望する子どもの年齢/家庭類型別（0歳）〕



〔図 利用を希望する子どもの年齢/家庭類型別（1・2歳）〕



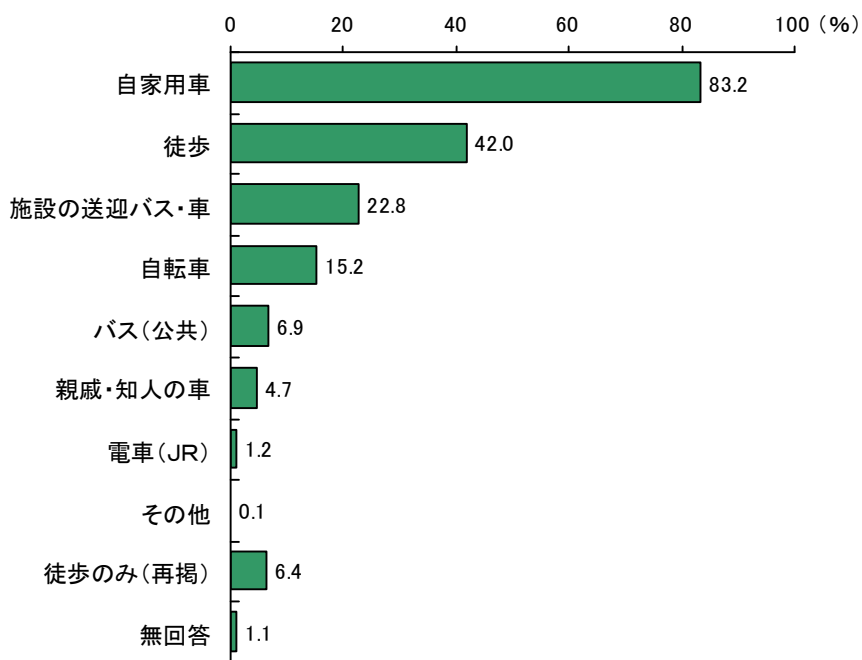
(5) 施設へ通う可能な手段

問 16-4 今後、幼稚園や保育園などには、通常どのような手段で通うことが可能ですか。(緊急時は含みません)

現在の施設へ通う可能な手段は、「自家用車」が 83.2%で最も高く、次いで「徒歩」が 42.0%、「施設の送迎バス・車」が 22.8%となっている。

そのうち、「徒歩」のみを回答した世帯は 6.4%となっている。

〔図 施設へ通う可能な手段〕



(6) 土曜日、日曜日、祝日の事業の利用希望

問 17 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的に幼稚園や保育園などの利用を希望しますか。(一時的な利用は除きます)

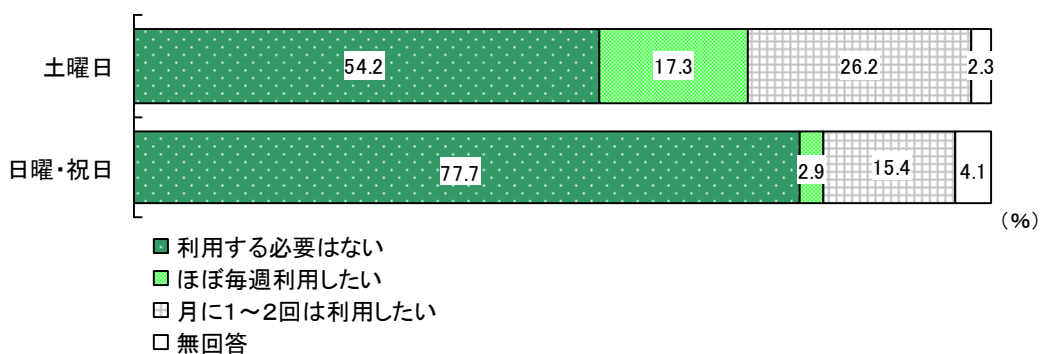
土曜日の事業の利用希望は、「ほぼ毎週利用したい」は 17.3%、「月に 1～2 回は利用したい」は 26.2%となっている。

利用希望時間について、開始時間は「8 時台」(42.6%) が最も高く、次いで「9 時台」(36.8%)、終了時間は「17 時台」(26.2%) が最も高く、次いで「18 時台」(24.0%) となっている。

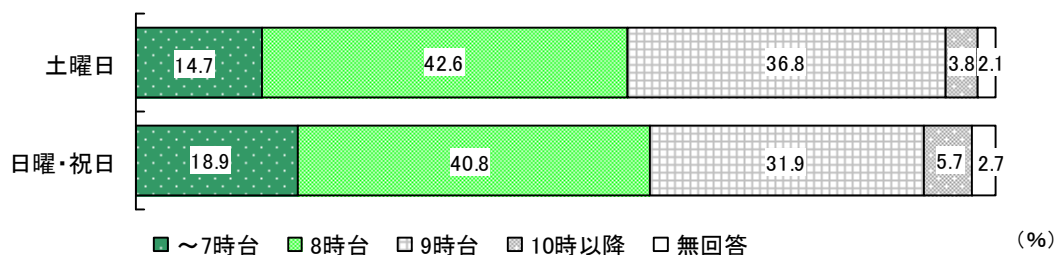
日曜・祝日の事業の利用希望は、「ほぼ毎週利用したい」は 2.9%、「月に 1～2 回は利用したい」は 15.4%となっている。

利用希望時間について、開始時間は「8 時台」(40.8%) が最も高く、次いで「9 時台」(31.9%)、終了時間は「18 時台」(31.1%) が最も高く、次いで「17 時台」(28.3%) となっている。

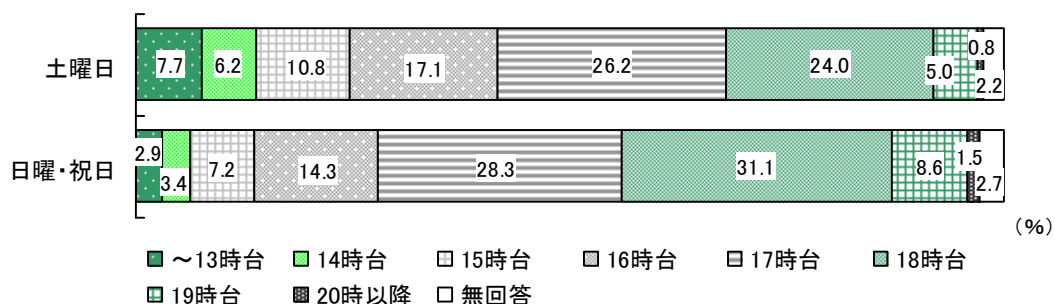
〔図 土曜日、日・祝日の事業の利用希望〕



〔図 土曜日、日・祝日の希望開始時間〕



〔図 土曜日、日・祝日の希望終了時間〕



(7) 長期休暇中の事業の利用希望

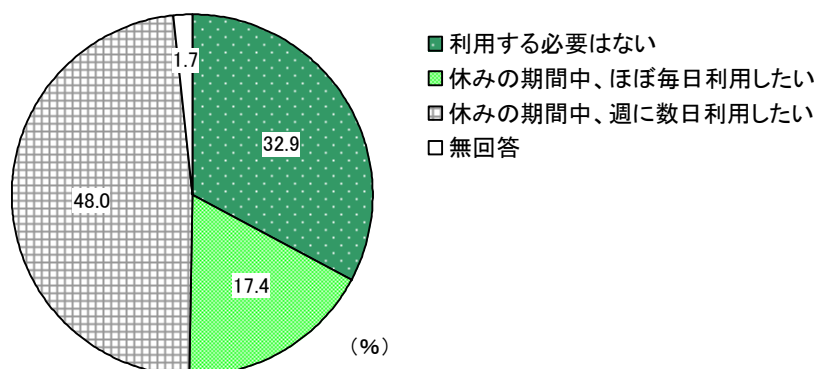
問 18 あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中に幼稚園や保育園などの利用を希望しますか。

長期休暇中の事業の利用希望は、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」は17.4%、「休みの期間中、週に数日利用したい」は48.0%となっている。

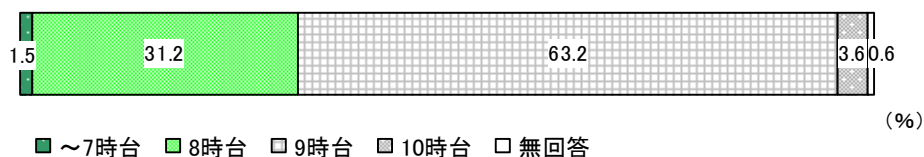
利用希望時間について、開始時間は「9時台」(63.2%)が最も高く、次いで「8時台」(31.2%)、終了時間は「16時台」(28.3%)が最も高く、次いで「15時台」(21.0%)となっている。

〔図 長期休暇中の事業の利用希望〕

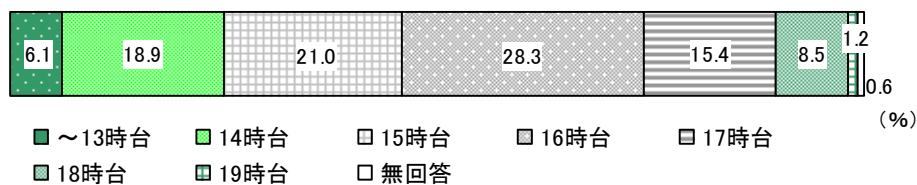
(幼稚園を利用している子どものみ)



〔図 長期休暇中の希望開始時間〕



〔図 長期休暇中の希望終了時間〕



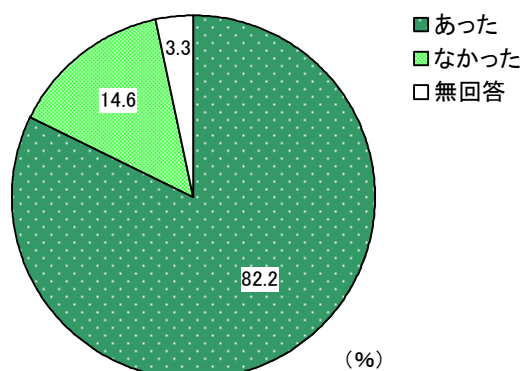
5 不定期の保育事業の利用希望

(1) 子どもが病気の際の保育

問 21 この１年間に、お子さんが病気やケガで幼稚園や保育園などを利用できなかったことはありますか。

病気やケガで教育・保育事業を利用できなかったことが、「あった」割合は 82.2%となっている。

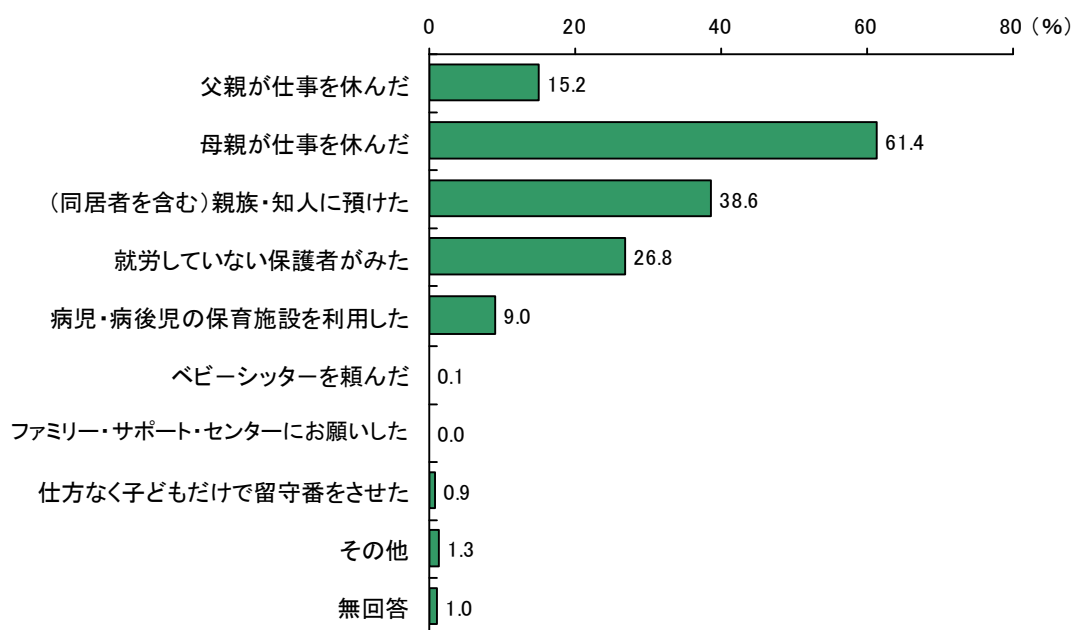
〔図 子どもが病気で教育・保育事業を休んだ経験の有無〕
(定期的に教育・保育事業を利用している世帯)



問 21-1 あて名のお子さんが病気やケガで普段利用している幼稚園や保育園などを利用できなかった場合に、この１年間にどのように対応しましたか。

病気やケガで教育・保育事業を利用できなかった際の対応は、「母親が仕事を休んだ」が 61.4%で最も高く、次いで「(同居者を含む) 親族・知人に預けた」(38.6%)、「就労していない保護者がみた」(26.8%) となっている。

〔図 子どもが病気で教育・保育事業を休んだ際の対応〕



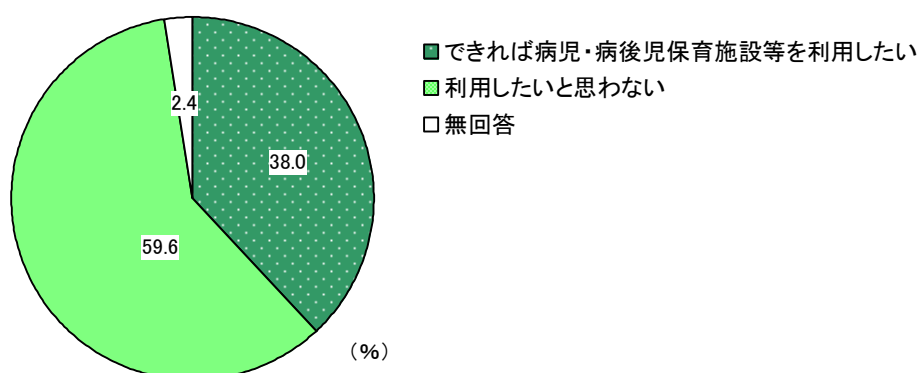
問 21-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。

母親や父親が仕事を休んで子どもを看た経験がある世帯の、病児・病後児保育施設等の利用希望は、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」との回答は38.0%となっている。

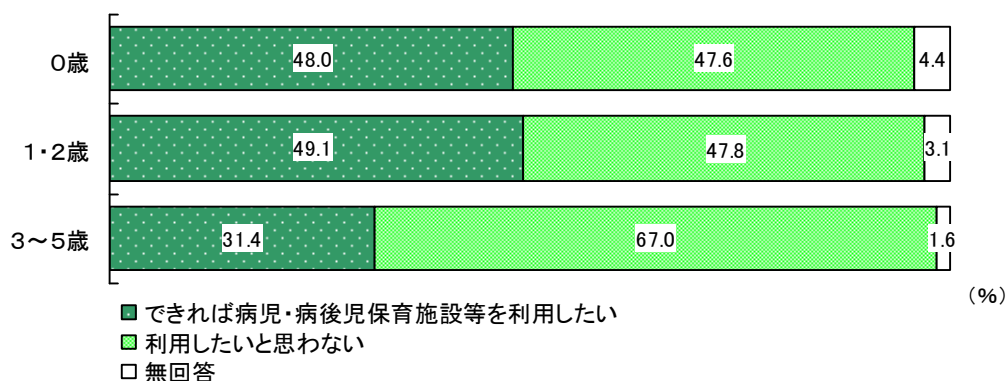
年齢区分別にみると、0歳、1・2歳では、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」との回答が約5割となっている。

家庭類型別にみると、ひとり親家庭、フルタイム×フルタイムの家庭で「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」との回答が4割を超えている。

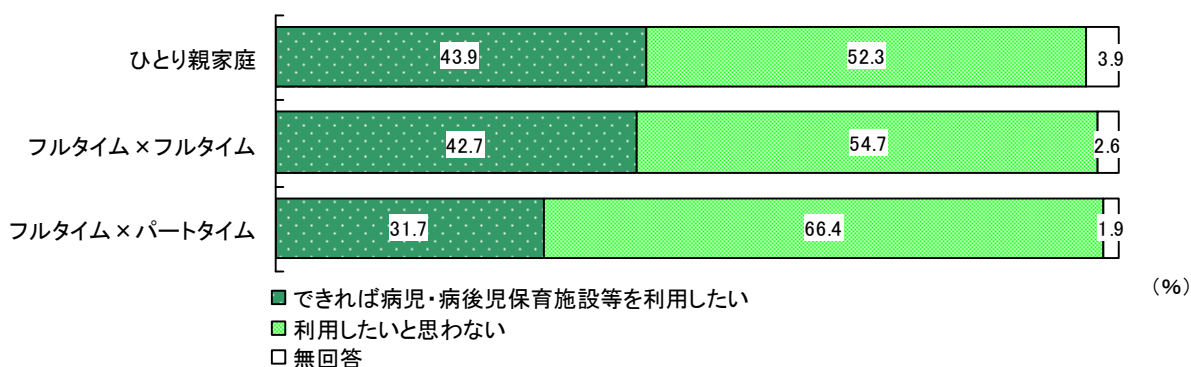
〔図 子どもが病気の際の病児・病後児保育施設等の利用希望〕
（子どもが病気の際に母親・父親が仕事を休んだ経験がある世帯）



〔図 子どもが病気の際の病児・病後児保育施設等の利用希望/年齢区分別〕



〔図 子どもが病気の際の病児・病後児保育施設等の利用希望/家族類型別〕

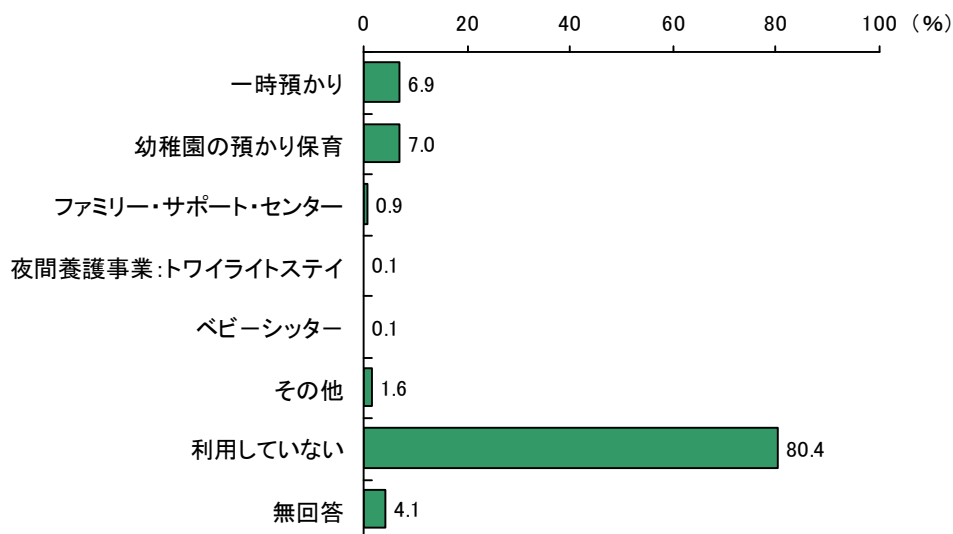


(2) 不定期の保育サービス

問 22 あて名のお子さんについて、この１年間に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不
定期に利用したサービスはありますか。

不定期の保育サービスについて、利用した割合は、「利用していない」、「無回答」を除くと
16.6%であり、利用した事業は「幼稚園の預かり保育」が7.0%、「一時預かり」が6.9%とな
っている。

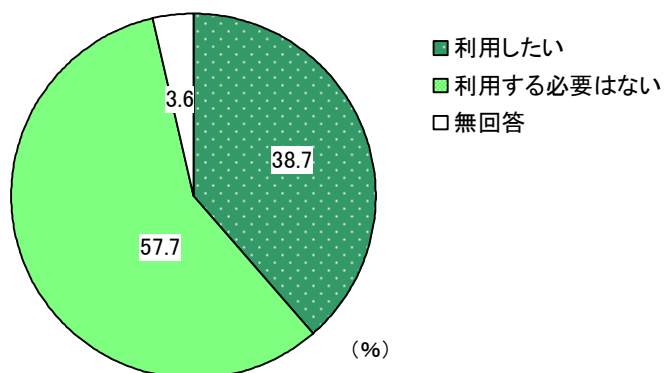
〔図 不定期に利用した保育サービス〕



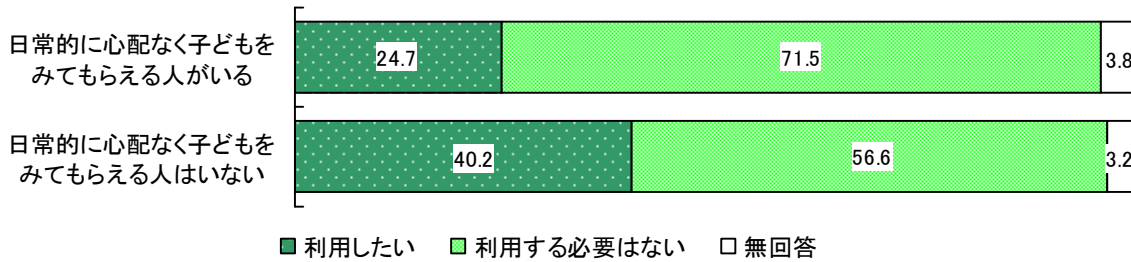
問 23 あて名のお子さんについて、今後、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、子どもを
預けるサービスを利用したいと思いますか。

不定期の保育サービスを今後、「利用したい」割合は 38.7%であり、日常的に子どもをみて
もらえる人がいない家庭では、約4割が「利用したい」と回答している。

〔図 不定期の保育サービスの利用意向〕



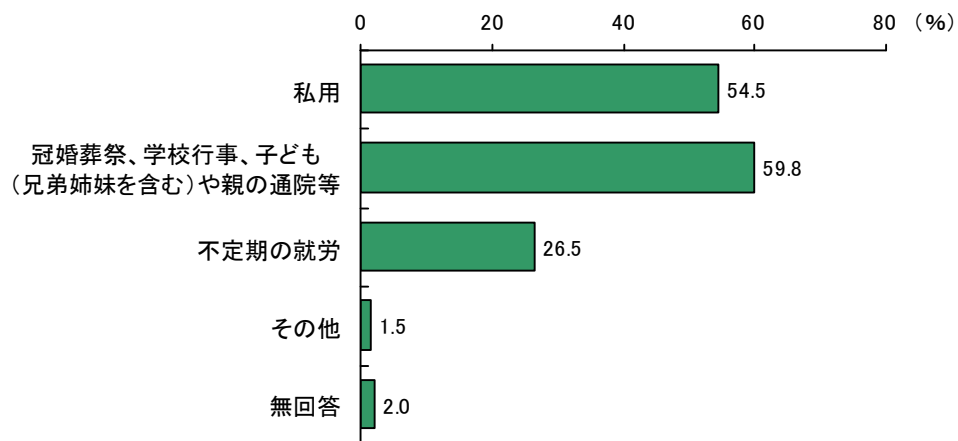
〔図 不定期の保育サービスの利用意向/子どもをみてくれる人の有無別〕



問 23-1 どのような目的で利用したいですか。

利用したい理由は「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」が 59.8%、「私用」が 54.5%で高くなっている。

〔図 利用する理由〕

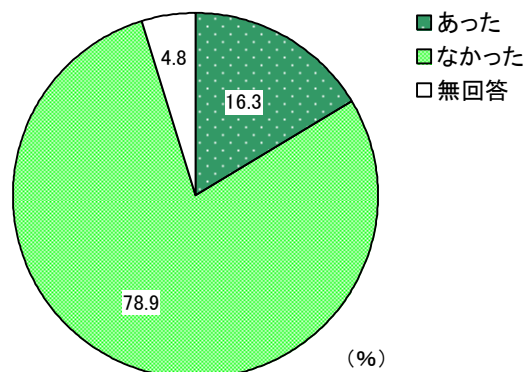


（３）宿泊を伴う保育サービス

問 24 この１年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）によりあて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかったことがありましたか。（預け先が見つからなかった場合も含みます）

保護者の用事により子どもを泊りがけで預けた経験が「あった」割合は 16.3%となっている。

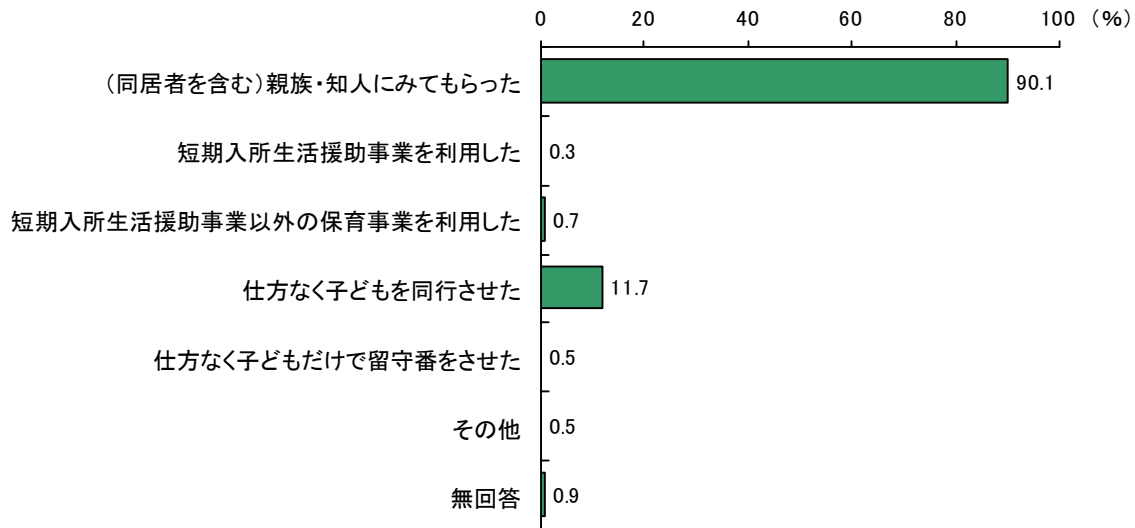
〔図 泊りがけで子どもを預けた経験の有無〕



問 24－1 この１年間にどのように対応しましたか。

保護者の用事により子どもを泊りがけで預けた際の対応は「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」が 90.1%であり、事業を利用した割合はわずかである。

〔図 泊りがけで子どもを預けた際の対応〕

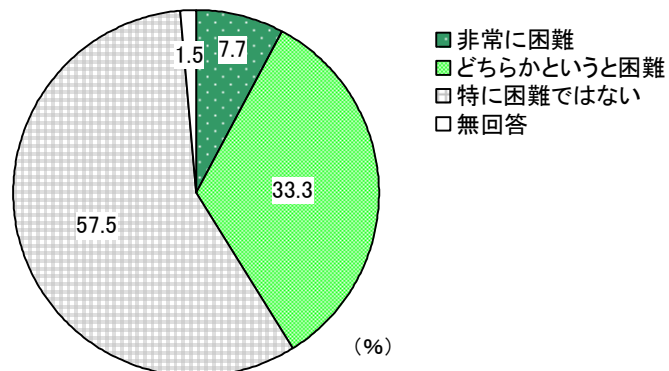


問 24－2 親族や知人にみてもらうのは困難でしたか。

親族や知人にみてもらったが、「非常に困難」である割合は 7.7%となっている。

〔図 泊りがけで子どもを預けた際の困難度〕

(親族・知人にみてもらった経験がある世帯)



6 小学校就学後の放課後の希望の過ごし方

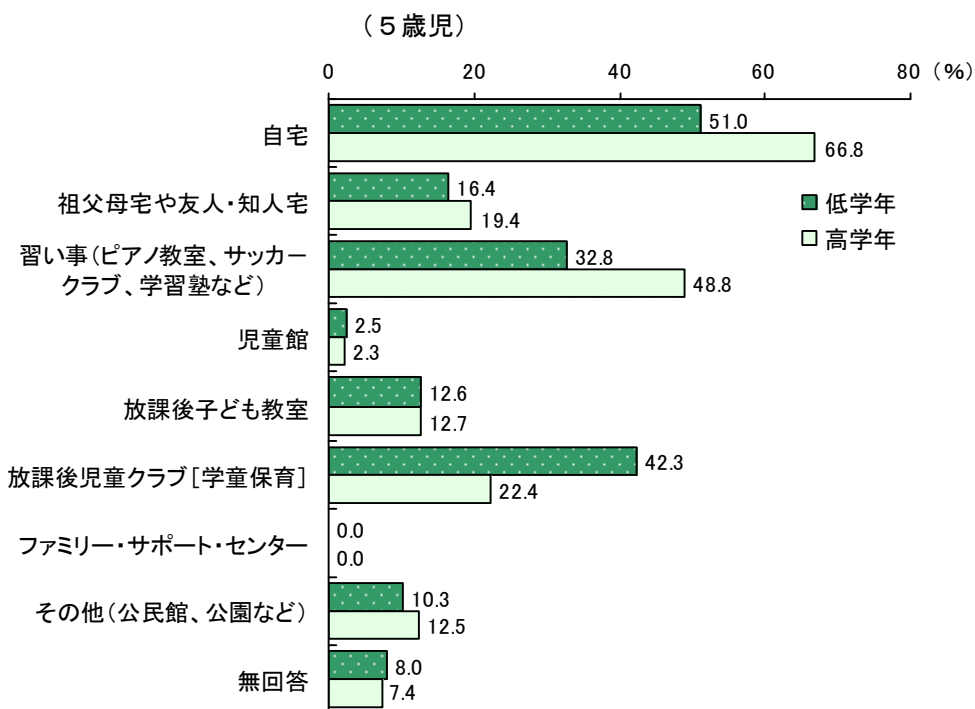
問 25 あて名のお子さんについて、小学校低学年（１～３年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。

問 26 あて名のお子さんについて、小学校高学年（４～６年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。先のことになりますが、現在お持ちのイメージで回答してください。

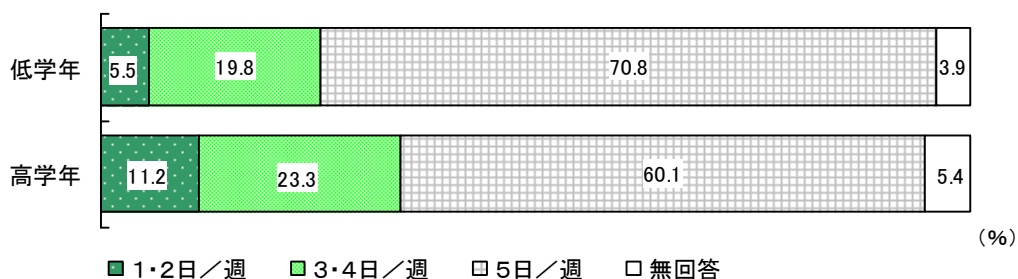
小学校就学後の放課後の過ごし方として、「放課後児童クラブ」と回答した割合は、低学年の時期で 42.3%、高学年の時期で 22.4% となっている。

利用希望日数は１週当たり「５日」、利用希望終了時間は「17 時台」「18 時台」の割合が高くなっている。

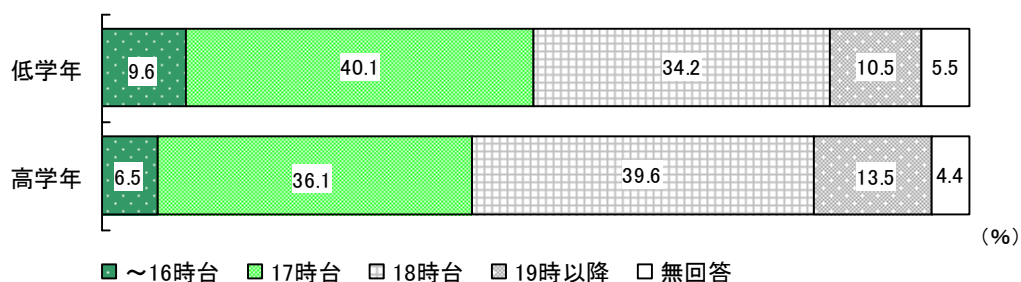
〔図 子どもの小学校就学後の放課後の過ごし方〕



〔図 放課後児童クラブの１週当たりの利用日数〕



〔図 放課後児童クラブの希望終了時間〕



7 地域の子育て支援サービスの利用状況

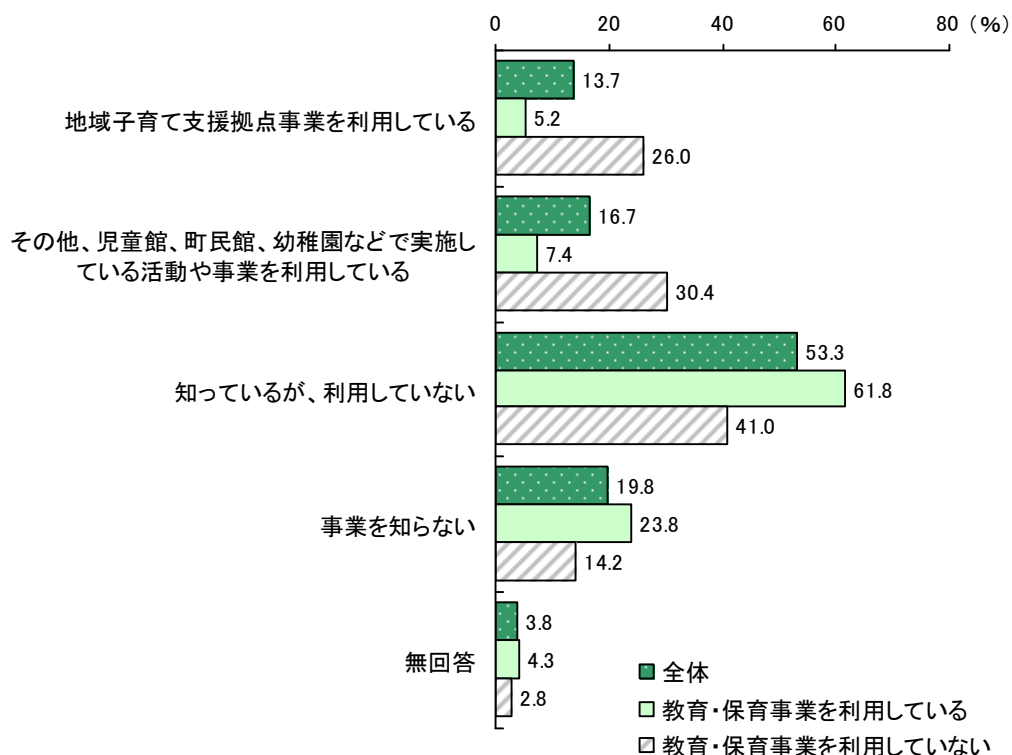
(1) 地域子育て支援拠点事業の利用状況

問 19 あて名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業などを利用していますか。

地域子育て支援拠点事業の利用状況について、「地域子育て支援拠点事業を利用している」は13.7%、「その他、児童館、町民館、幼稚園などで実施している活動や事業を利用している」は16.7%であり、「事業を知らない」が19.8%となっている。

平日の教育・保育事業の利用状況別にみると、事業を利用していない世帯では「地域子育て支援拠点事業を利用している」は26.0%、「その他、児童館、町民館、幼稚園などで実施している活動や事業を利用している」は30.4%となっている。

〔図 地域子育て支援拠点事業の利用状況〕

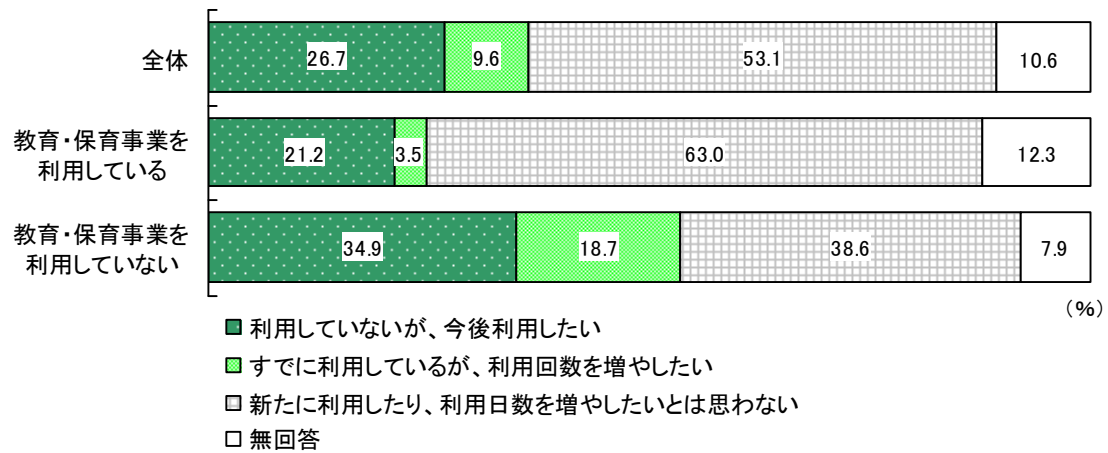


(2) 地域子育て支援拠点事業の利用意向

問 20 問 19 の 1 の地域子育て支援拠点事業を、今後利用したり、利用回数を増やしたいと思いますか。

地域子育て支援拠点事業の利用希望について、「利用していないが、今後利用したい」は 26.7%、「すでに利用しているが、利用回数を増やしたい」は 9.6%となっている。

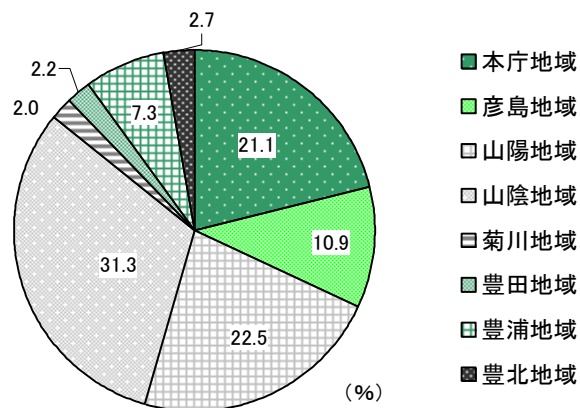
〔図 地域子育て支援拠点事業の利用希望/定期的な事業の利用状況別〕



Ⅲ 放課後児童クラブの利用に関する調査の結果

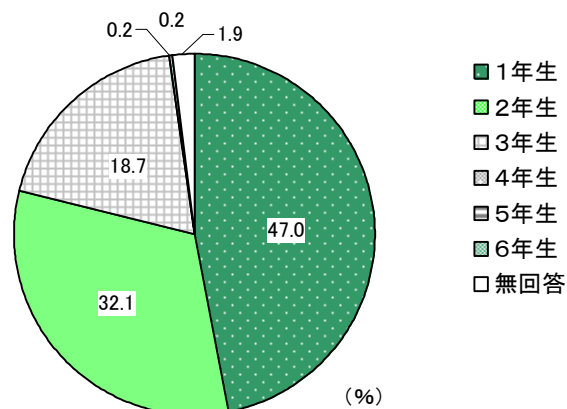
1 属性

(1) 通学している小学校



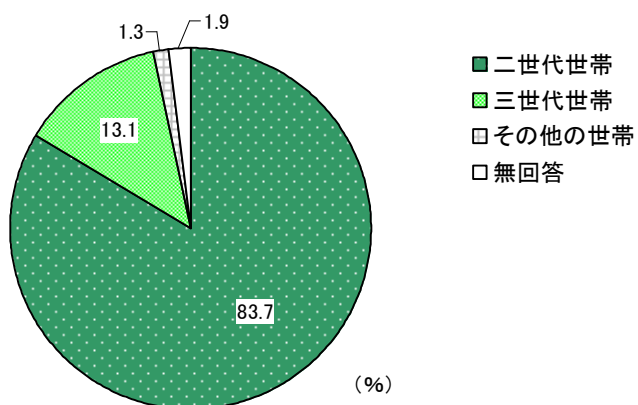
	回答者数	割合
本庁地域	273	21.1%
彦島地域	141	10.9%
山陽地域	291	22.5%
山陰地域	405	31.3%
菊川地域	26	2.0%
豊田地域	29	2.2%
豊浦地域	94	7.3%
豊北地域	35	2.7%
合計	1,294	100.0%

(2) 学年



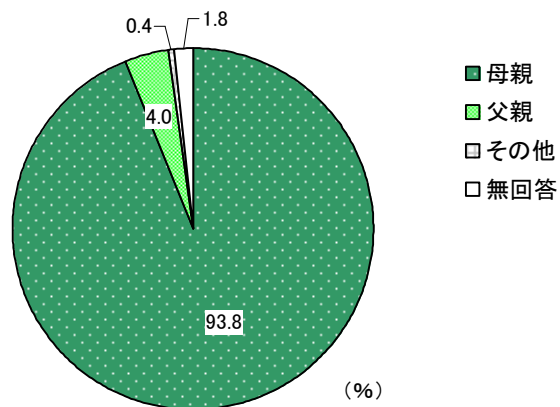
	回答者数	割合
1年生	608	47.0%
2年生	415	32.1%
3年生	242	18.7%
4年生	3	0.2%
5年生	-	-
6年生	2	0.2%
無回答	24	1.9%
合計	1,294	100.0%

(3) 家族構成



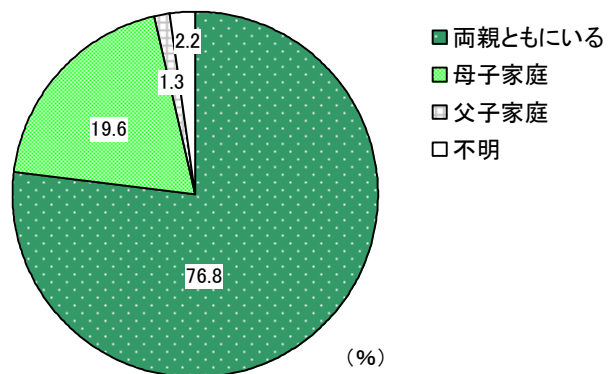
	回答者数	割合
二世帯世帯	1,083	83.7%
三世帯世帯	170	13.1%
その他の世帯	17	1.3%
無回答	24	1.9%
合計	1,294	100.0%

(4) 記入者



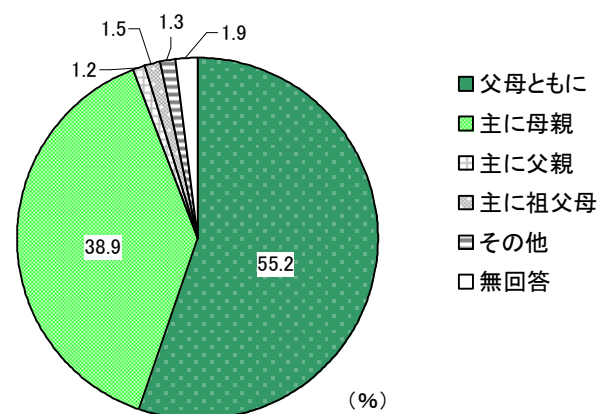
	回答者数	割合
母親	1,214	93.8%
父親	52	4.0%
その他	5	0.4%
無回答	23	1.8%
合計	1,294	100.0%

(5) 両親の状況



	回答者数	割合
両親ともにいる	994	76.8%
母子家庭	254	19.6%
父子家庭	17	1.3%
不明	29	2.2%
合計	1,294	100.0%

(6) 子育てを主に行う者



	回答者数	割合
父母ともに	714	55.2%
主に母親	503	38.9%
主に父親	16	1.2%
主に祖父母	20	1.5%
その他	17	1.3%
無回答	24	1.9%
合計	1,294	100.0%

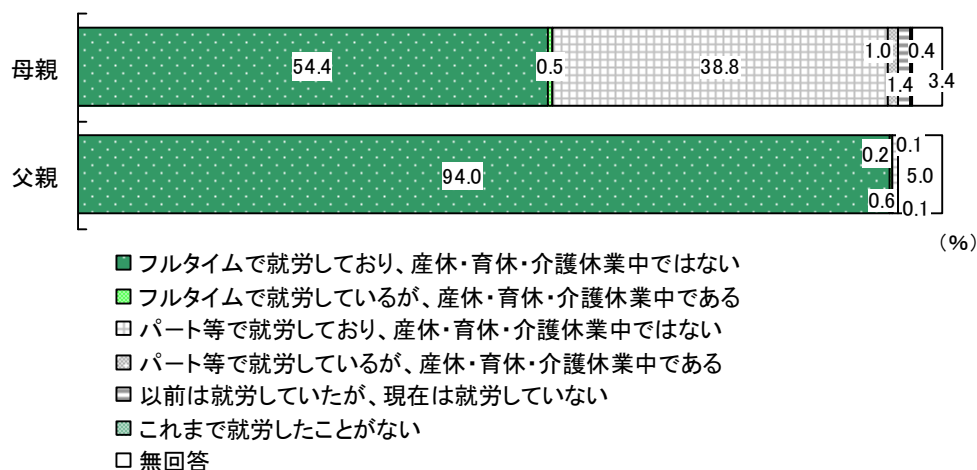
2 両親の就労状況

(1) 両親の就労状況

母親の就労状況は、「フルタイム」が 54.9%、「パート・アルバイト」が 39.8%であり、就労している割合は 94.7%である。

父親の就労状況は、「フルタイム」が 94.2%、「パート・アルバイト」が 0.6%であり、就労している割合は 94.8%である。

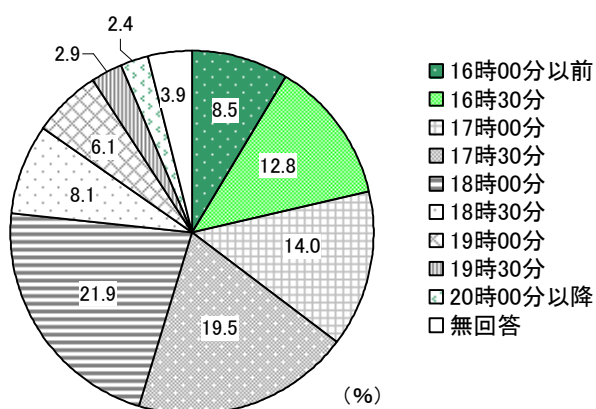
〔図 両親の就労形態〕



(2) 帰宅時間

帰宅時間は、「18：00」が 21.9%で最も高く、次いで「17：30」（19.5%）、「17：00」（14.0%）などの順となっている。

〔図 帰宅時間〕

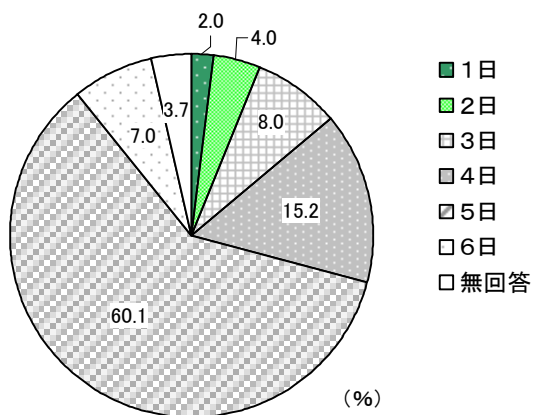


3 放課後児童クラブの利用状況、利用希望

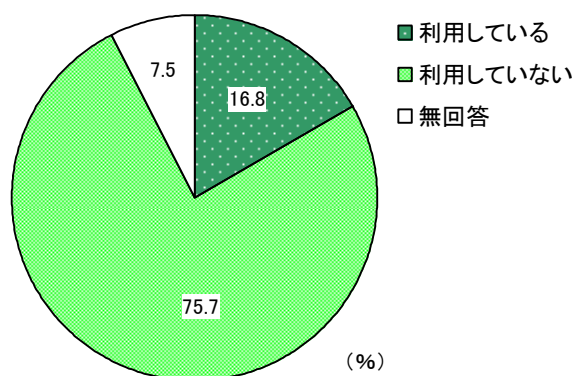
(1) 利用状況

放課後児童クラブの1週当たりの利用日数について、「5日」が60.1%で最も高くなっている。土曜日の利用状況は、「利用している」が16.8%、「利用していない」が75.7%となっている。

〔図 1週当たりの利用日数〕



〔図 土曜日の利用状況〕



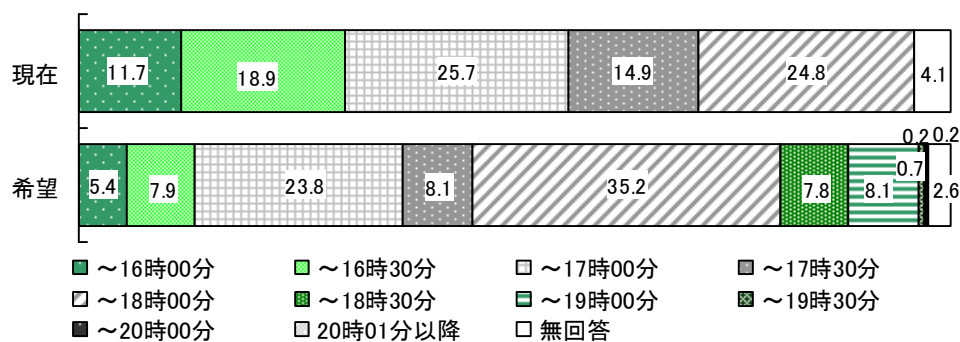
(2) 利用時間の現状・希望

現在の利用終了時間は「～17 時 00 分」が 25.7%で最も高く、希望終了時間は「～18 時 00 分」が 35.2%で最も高くなっている。希望終了時間は、「～18 時 30 分」が 7.8%、「～19 時 00 分」が 8.1%となっている。

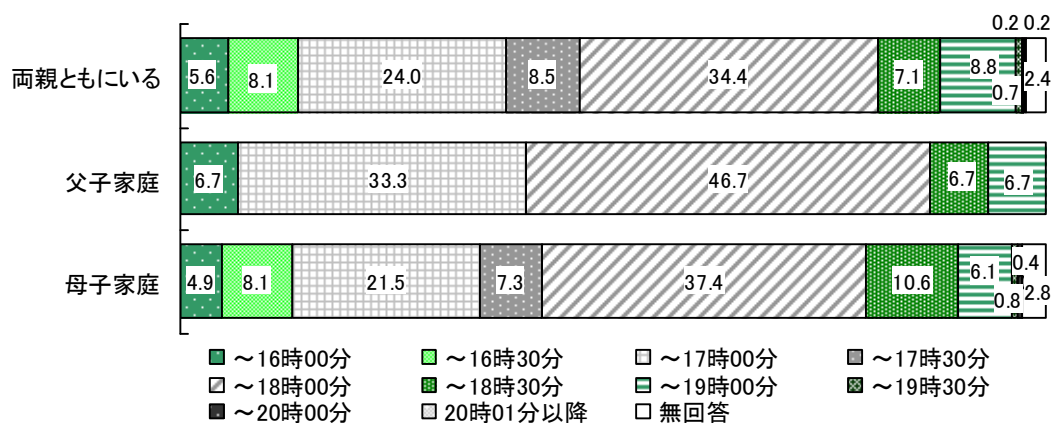
長期休暇中の利用時間について回答したのは、全体の 76.6%であり、現在の開始時間、希望開始時間ともに「8 時 00 分～」が最も高くなっているが、希望開始時間では「7 時 30 分～」が 16.4%、「7 時 00 分～」が 2.6%となっている。

長期休暇中の現在の終了時間は「～17 時 00 分」が最も高く、希望終了時間は「～18 時 00 分」が最も高くなっている。また、終了時間は、「～18 時 30 分」が 7.6%、「～19 時 00 分」が 7.8%となっている。

〔図 放課後児童クラブの利用終了時間〕

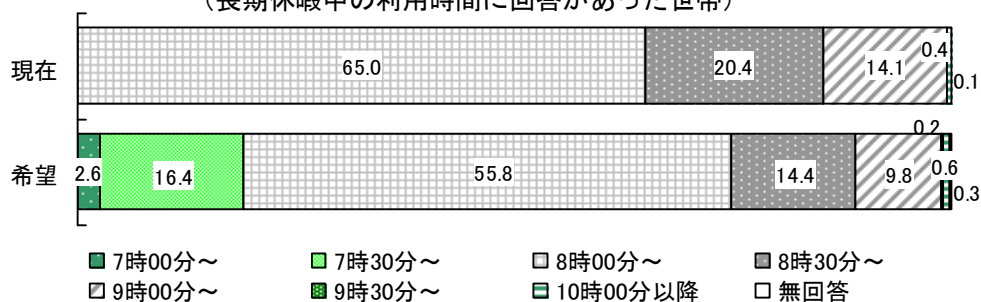


〔図 放課後児童クラブの利用希望終了時間（両親の状況別）〕



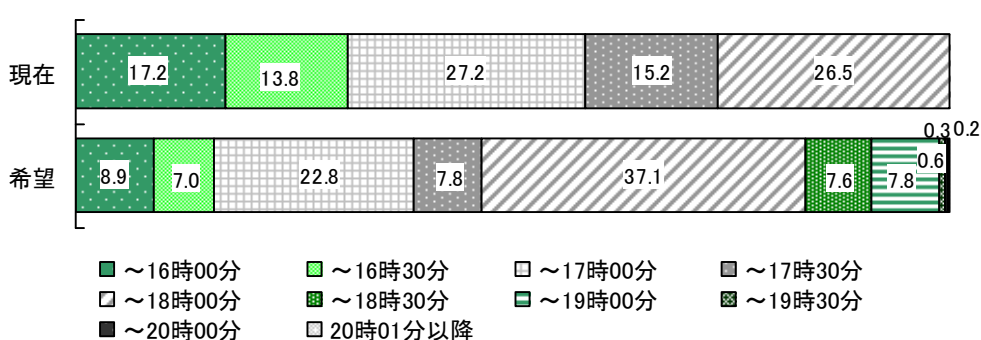
〔図 長期休暇中の放課後児童クラブの利用開始時間〕

(長期休暇中の利用時間に回答があった世帯)



〔図 長期休暇中の放課後児童クラブの利用終了時間〕

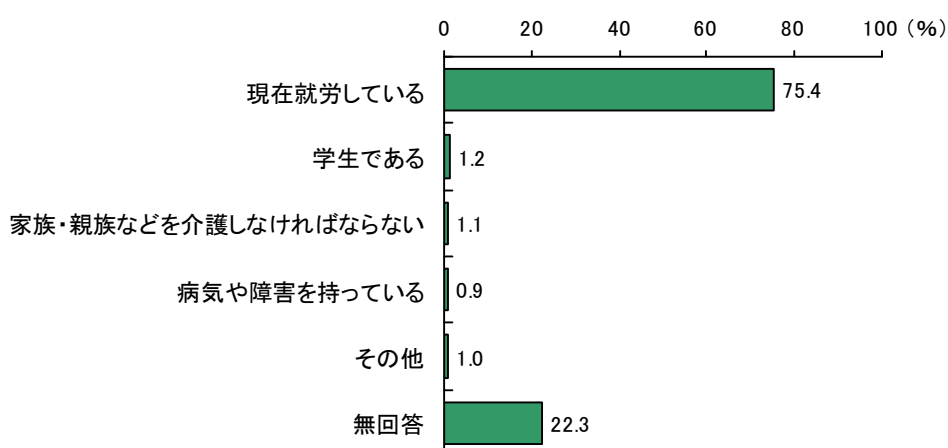
(長期休暇中の利用時間に回答があった世帯)



(3) 利用している理由

放課後児童クラブを利用している理由は、「現在就労している」が75.4%で最も高くなっている。

〔図 放課後児童クラブを利用している理由〕



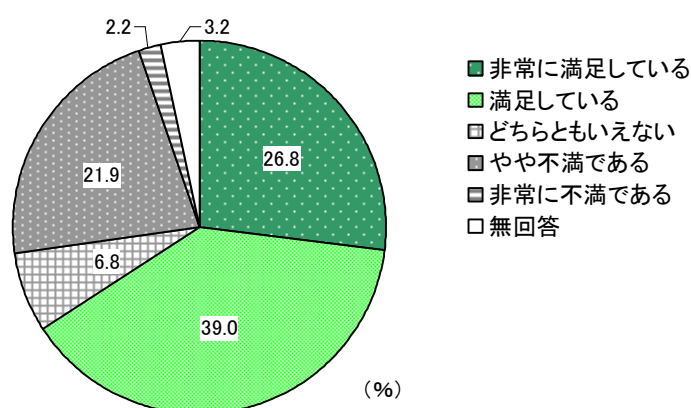
(4) 放課後児童クラブの満足度

放課後児童クラブの満足度は、『満足』（「非常に満足している」＋「満足している」）の割合は65.8%、
『不満』（「非常に不満である」＋「やや不満である」）の割合は24.1%となっている。

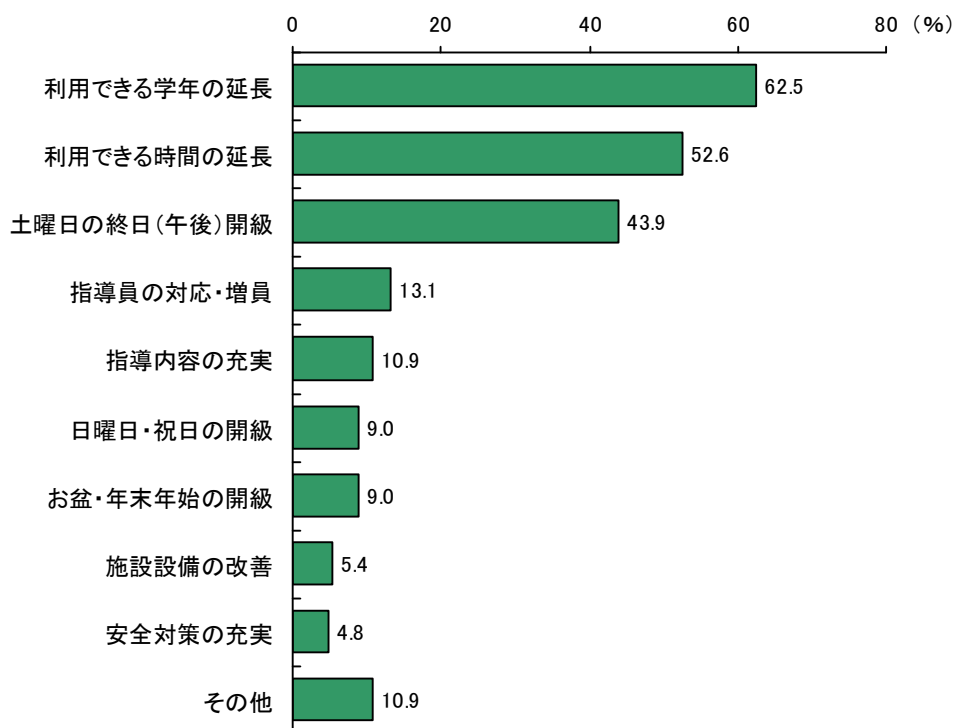
放課後児童クラブへの要望は、「利用できる学年の延長」が62.5%と最も高く、次いで「利用できる時間の延長」（52.6%）、「土曜日の終日（午後）開級」（43.9%）となっている。

時間を延長した場合の利用意向は、「利用しない」が18.9%、「利用する」が79.9%となっている。

〔図 放課後児童クラブの満足度〕

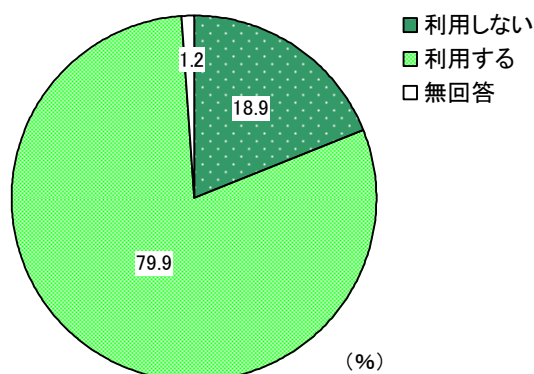


〔図 放課後児童クラブへの要望〕



〔図 延長保育料がかかる場合の時間延長の利用意向〕

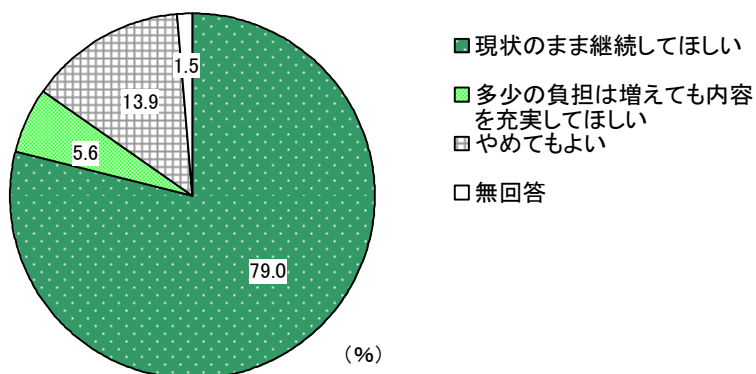
(利用できる時間の延長を望んだ世帯)



(5) おやつ（捕食）の提供

おやつ（捕食）の提供について、「現状のまま継続してほしい」が79.0%、「多少の負担は増えても内容を充実してほしい」が5.6%、「やめてもよい」が13.9%となっている。

〔図 おやつ（捕食）の提供〕



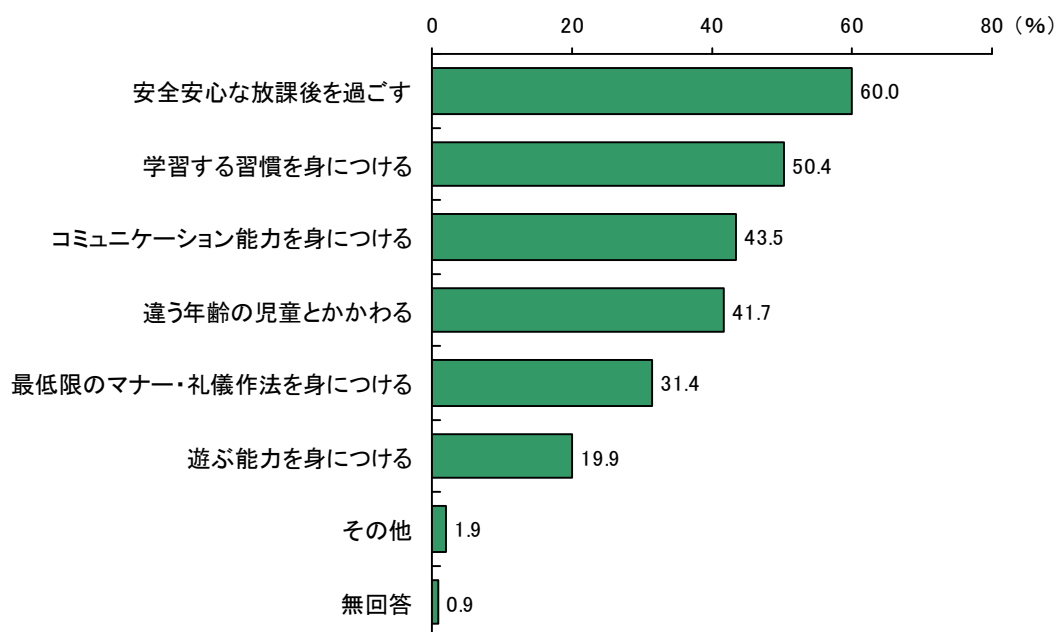
〔おやつ（捕食）の提供をやめてよいと理由（抜粋）〕

- ・ほとんど食べずに、持って帰るため
- ・欠席の時のおやつを持って帰るが、いらない
- ・子どもが太り気味のため、間食は控えたいため
- ・おやつを食べると夕飯が食べられなくなるため
- ・帰宅してから食べるため
- ・おやつを摂取する習慣がないため
- ・今のおやつはお菓子なので腹を満たす物ではない
- ・おやつの内容があまり良くないため
- ・家庭ではあたえないような物が多い
- ・おやつ代が高い
- ・早く帰るため

(6) 放課後児童クラブに期待すること

放課後児童クラブに期待することは、「安全安心な放課後を過ごす」が60.0%と最も高く、次いで「学習する習慣を身につける」(50.4%)、「コミュニケーション能力を身につける」(43.5%)、「違う年齢の児童とかかわる」(41.7%)となっている。

〔図 放課後児童クラブに期待すること〕



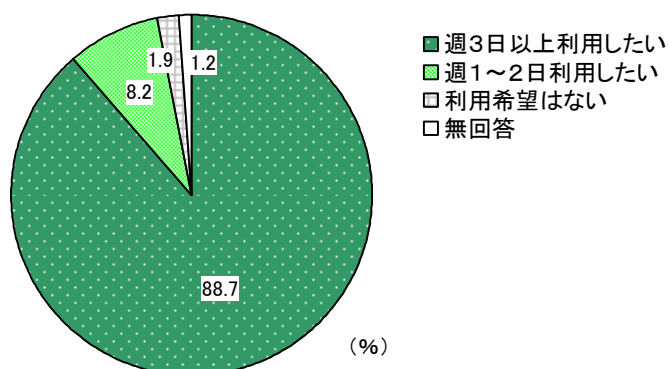
(7) 今後の利用希望

放課後児童クラブの利用意向は、「週3日以上利用したい」が88.7%と最も高くなっている。

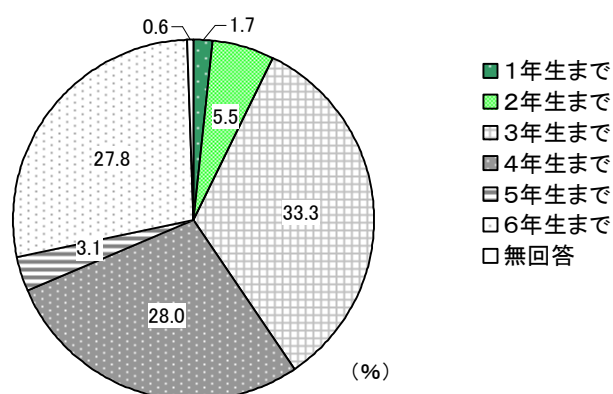
希望する学年は、「3年生まで」が33.3%と最も高く、次いで「4年生まで」(28.0%)、「6年生まで」(27.8%)となっている。

学年別にみると、3年生では「6年生まで」が41.1%と高くなっている。

〔図 放課後児童クラブの利用意向〕



〔図 希望する学年〕



〔図 希望する学年 (学年別)〕

